京城日報

THE KEIJO NIPPO 大正九年一月十日 (明治三十九年八月十八日第三種郵便物認可)

第四千四百六號 (一)

定價 每號一部金五錢 壹ヶ月前金八拾五錢 三ヶ月同二圓四十錢 六ヶ月同四圓五十錢 一ヶ年同九圓 郵券代用一割增

廣告料 五號十四字詰一行一圓五十錢 同特別二圓 四號九字詰同四圓 二號七字詰同二圓 活字 十六字詰金一圓

發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

電話番號 長六千九番 二長六千九番 振替京城三〇番

史上の太平洋問題

史料編纂官 中村勝麿氏談

太平洋問題は目下軍事上經濟上其他各方面に亘つて研鑽せられてゐるが其研究の何れの方面たるを問はず其歴史的考察は極めて必要なことである即ち太平洋問題の解決は其の歴史的觀察に基かなくてはならぬ抑も德川時代が鎖國政策の時代であつたことは蔽ふ可からざる事實であるが今此の鎖國政策をとるに至つた原因を考ふるに歐米人に對する政策上の動機も潜んでゐたことは勿論であるが一面支那に對する政策が重大なる要素をなしたのである即ち往古日支貿易は既に盛を極め足利時代に邦人の支那に渡行する者夥しく遂に彼の地に在りて掠奪を恣にするものさへあるに至つた支那人の所謂倭寇なる者はこれであるしかし倭寇と雖も初めは決して之を本意としたものではなかつた折柄我國内の統一の紊亂したのに禍せられて日支國交の上に生じた變態が即ち倭寇となつたとも見られる支那人の一時を糊塗し屢々誠意なき擧動があつたとは昔も今も變りは無かつたらしいふ事は別に不可思議とも言ふには足らぬかも知れぬ其以前鎌倉時代に蒙古の襲來したことは我國上下人心の緊張を促し復讐の計畫さへも企圖せられ尠くとも其一部は實行を見るに至つたのであつて或は其の發達したものが倭寇の一部となつたとも謂へる倭寇の最も旺んなりしは南北朝時代である鎌倉時代には主こして彼土の偵察を事としたものであるが南北朝時代には我が中央政府の統制力は漸次失墜し海外に在る邦人は益々亂行を敢てするに至つたのである、茲に於て支那は度々抗議を申出で終に織田信長が京都入りの前に我國に對し絶對に鎖港を宣言したのである當時支那の鎖港は我國に一大痛棒を與へたものであつた工業力幼稚にして日用品の殆ご總てを支那に仰ける時代なれば此の輸出禁止に遭うや市場の苦痛は非常であつたのは怪しむに足らぬしかし窮すれば通ずで支那方面が塞つたので我邦人は別に一路を開拓したこれが即ち南洋貿易である當時比律賓は我が無二の貿易地であつた然るに支那は古來[illegible]主義であつて若し支那が鎖港を解いたならば比律賓貿易の蒙る影響は大なるものであつたであらうが奈何せん倭寇に懲々せる支那は頑港を容易に解く可くもなかつたのである之れを打破せんとして力めたのが信長であつた然るに不幸信長は天正十年六月二日光秀の叛逆に依つて本能寺の露と消ゑその理想の實現を見なかつたのであるが此政策を受け繼ぎしものが秀吉である、彼の秀吉が水陸の大軍を朝鮮に向はしめたのは決して其の武威を輝かす目的ではなかつた即ち信長の計畫を繼承したまでで元來秀吉は大なる平和主義の人物であることは彼の小田原征伐長州征伐等を見てもよく判る即ち朝鮮入りに際し彼が出來得る限り外交に依りて解決を付けんとせるを見ても其目的の武威を輝かすにあらずして平和的手段に出でたと云ふことは疑はない彼の目的は朝鮮を通じて支那の鎖港を解かしめんとしたに外ならぬ此邊のことに關しては今日の歴史の傳ふるところ甚だ誤れるものが多いを知る事は出來ない今回の我が參戰がマーシャルカロリン諸島を獲得せんとする目的に出でたるに非ずして只日英同盟の誼に因るものなる事は世人の能く知る處であらう所謂世の歴史家たるもの、結果を以て目的を揣摩することは愼む可き事であつて秀吉の目的も其の結果とは大いなる錯誤を生じてゐる即ち支那の鎖港を解かしむる目的は遺憾ながら遂せられず一世の英雄も空しく樓中の人となつた家康に至りてまた此志を繼ぎ遂に島津氏をして琉球を占領せしめ之れに依りて支那を威壓し以て鎖港を解かしめんとしたのであるが猶目的を達するに至らず家光亦之に力を注ぎしも失敗に終り日支關係はそのまゝの狀態で明治四年に至つた、尤も此間長崎の交通は甚だ盛んであつたが明治四年に至り漸く日支關係の解決を見んとするに際し端なくも朝鮮の勃興を見たのである、若し中世に日支貿易が斷絶しなかつたならば我が國も決して鎖港主義はとらなかつたであらう否に此の時代の黄海支那海は高波泰平を唱うてゐたのであるが彼の有名なる阿片戰爭の勃發と共に太平洋の波始めて穩かならず英國は遂に支那に迫つて五港を開港せしめた東洋の大變局は茲に端を發する而して日本の開港も此れより始まつたので恰も支那の五港開港より[illegible]佛艦が渡來して琉球[illegible]迫つた時恰も弘化元年[illegible]は和蘭が切りに開港勸告をしてゐたのである茲に於て國論鼎沸り末遂に琉球の開港を許すこと、なつたが此の英佛兩國の東洋壓迫に刺戟された露國は一大飛躍をなして國境の擴張を計りまたメキシコ戰爭の結果カリホルニヤを獲た米國は北方より露國南方より英佛と相並て太平洋を脅かすと知りて大いに驚き直ちに支那に對し貿易を開始しその最近航路を求め且つ水炭供給を仰ぐ爲めに我國に對して開港を促すに至つた曾て日本を占領して太平洋上の全權を獲得せんとの野心を有せし露國は倍々緊張し忽ち長崎に至りて開港を迫つた折柄彼のクリミヤ戰爭が起りこれより朝鮮問題琉球問題日清日露兩役等の歴史を作つた(東京支局)

生別死別

―(不許轉載翻刻)―

服部硯月

『八五』 初對面

主客は初對面の挨拶が終つて今ボーイの運んだ珈琲を載せたテーブルを中に相對して椅子に腰を卸した。

『嘸お疲れでしたでせう』

『はア有難う、何分海は靜でしたが女を伴れてゐるもんですから』

『奥樣にも別にお障りは御座いませんか』

『ありがたう、併し彼女は妹です』

『さうですか、私は奥樣かと思つて失禮致しました』

『獨り者計りではない、所々で奥樣扱にされるので彼女も面食つてゐます、船中などでは一々斷る譯にも行かず、可なり滑稽な事もありましたよ』

砥上の三浦家保護が父の遺言に隨ふのではなく、又は天才發揮の爲のみとしたならば、高潔な砥上の性格を以てしても、世際多少井上に對し嫉妬の念を萌したかも知れぬ。けれども砥上の孝心は嫉妬心を抑制して猶且餘りある、砥上は井上を百年知己の如く温容を以て井上に對して居るのである。

『時に、伺ひましたのは、平素より一方ならぬ恩顧を受けて居る三浦重之氏の遺族に就きまして……』

寧ろ砥上の方から聞き度かつたのである。晃こそ何も知らぬが、賺治の方では大學で要を徵して以來、三浦一族の秘密を切り、重之氏の臨終の時には居合せ、砥上の事に關しても細大となく知つてゐるのである。

『別に大したお世話なぞ致した事はありませんが……併し君はどうして三浦一家を御存知です或は御親戚の間柄でも?』

『いや親戚ではありません、私共の同藩の者であり又父が三浦家の御親父に擊劍の指南を受けて居りましたので……』

砥上は井上賺治が刑事巡査井上常太郎の息とは未だ知る由もない。

『さうですか、三浦さんの母子からも一向承はりませんでした』

『恰度三浦一家が貴郎のお世話を受くるやうになりました頃私は京都の方に轉じましたものですから』

『當地へは何時いらつしやいました』

『先月參つた許りです』

『では先頃の展覽會に於ける菊枝さんの評判は御存知ですね』

『愈々出品が出來たと云ふ[illegible]け承知して參りまして、其の[illegible]の評判は聞きませんでした』

『[illegible]本日參つた消息に依り、[illegible]者があつて賣約濟みになつたこか云ふ事でした』

『實は最初僕に呉れる積もりで書いたのでしたが』

『それなら何も貰らなくつても差上げれば可かつたのでしたに』

『それで僕に相談があつたのです、最初非賣品こしてあつたのですが、適當な希望者が出來たので其方に讓つたのです。そして僕も今其品を賞玩する時期がないものですから、藝術を賞玩することいふ事も年齢にも依ります、又自己の職務こ兩立しないものこは限りますまいが、それは人々の考へやうで、私には金錢上の問題は別こしても社會に存在して自己の本分を盡す爲に世の方面に沒頭するだけの時間の餘裕がないのです、素より藝術なるもの、必要も認めて居ります、で、三浦一家を保護したのも可惜菊枝孃の天才を枯らさすのが遺憾な爲で敢て自ら侍る所があらうこした譯ではありません、それから他にも多少一家の私事に渉つた關係もありましたけれご……』

今日井上に來た手紙の中には砥上より結婚を申込まれて来れを拒絶した事柄が書き加へられてあつた。井上はそれで一家の私事こ云ふのは或は其問題ではないかこも想像した。

マダ世間に全くない

日本雄辯演說學會編纂 慶應大學專攻青木先生監修

演說資料

英語まじりの 五分間演說集

本書の內容は社會一般の宴會集會儀式の席上に於ける演說祝辭詞答の例を集め其他青年會の發會集會講和の場合は勿論送別入營歡迎招待祝賀當選就任退任表彰開業結婚弔禮懇親等數百例の演說祝詞答詞を最も要領よく日本語九分に英語一分をまぜて少しも英語を知らぬ人でも五分十分の短時間で判る樣說明せるもの文こき得難き內容完備の良書也三六判三百五十頁餘の美本定價金九十五錢の處特價金八十錢希望者は(暗號エンセツ)こ一冊送れこハガキで申込めば代金引換郵便で送る前金注文は送料共で金八十六錢也

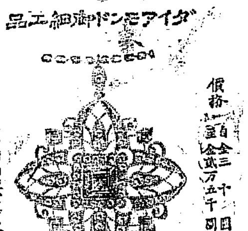
景品 一冊定價六十五錢の 五分間強健法 一人一冊先着二百名限進呈

○發行所 東京市牛込區通寺町廿二 振替東京二二九四〇番 竹生英堂

尚美堂の實飾品

最高の品位 標準的價格

ダイアモンド御細工品



尚美堂實飾店 大阪淀屋橋

新株券引替廣告

當行新株券出來候ニ付本月十日ヨリ當行本店ニ於テ第一回拂込領收證ト御引替可申此段廣告候也

大正九年一月十日

株式會社 朝鮮商業銀行

最新刊 遺傳 理學博士小泉丹纂著

本書は不偏公明且つ批判的態度を以て纏述せられたもので殖産醫事衛生の實際問題を遺傳學の眞味を通じて事實を主として挿圖を多くし而かも可成り專門的な點にも説き及ぼしてある[illegible]

發行所 東京本郷龍岡町三十四 南山堂書店

○黑色鑛山火藥 ○安全硝安爆藥 ○獵用火藥其他

右製造工場諸設備既ニ整頓近ク製品賣出ノ運ニ至リ此度右製品朝鮮一手販賣ヲ三井物産株式會社京城支店ニ委任仕候ニ就テハ當社技術ノ精ト地理ノ利ハ同社販賣機關ノ完備ト相俟チテ鮮內需要者各位ニ對シ從來ノ官製品ヨリ遙カニ御有利ニ御供給出來可申ト確信罷在候條何卒御愛顧御試用ノ程奉希上候

製造元 安東縣六道溝 滿洲鑛山藥株式會社

右一手販賣引受ケ近ク弊店各地火藥庫ニ在庫品潤澤ニ用意可仕候ニ付各地方弊店火藥類特約店ヨリ御買上相成度此段御披露申上候

所有火藥庫 釜山、仁川、忠州、元山、清津、平壤、新義州

グラスゴーノーベル爆藥會社朝鮮一手販賣店

三井物産株式會社京城支店

一、商業登記公告

一、大阪商船株式會社(變更)

大正八年拾貳月拾壹日取締役小島精太郞死亡抹消

大正九年壹月七日登記

右京城地方法院仁川支廳

京城府太平通二丁目百〇五番地

建物 木造瓦葺 百四拾貳坪

建物坪數 五拾六坪七勺

右土地以內建物ニ賣却ス希望者ハ來談アレ

十五日 京城鍾路一ノ四七 京城地方法院西角

元昌洋行

萬年炭

一頓六十錢以上各種木炭以上ノ火カヲ生ズ木炭、石炭、コークス五割節約

京城黃金町一ノ六 電話三〇六一番 酒本商店

公示催告

京城府大門通二丁目三十三番地 株式會社共益社 [illegible] 右法定代理人取締役 [illegible] 株式會社朝鮮商業銀行仁川支店 [illegible] 大正八年十二月二十三日 京城地方法院

萬人向娛樂雜誌 新年號大歡迎忽再版!!

面白俱樂部

近親戀愛 もつれ髮(社會小說) 秋野股猪

抱腹絶倒 黑猪塚(新作落語) 淡路呼潮

多淫多情 高橋お傳(新講談) 鴻巢歌吉

新年の家庭(家事) 大井川の秘密(奇談) 民謠一二篇 蒸菓子の話(家事) 趣味の世界(研究) よか樓の一夜(料亭評判) 子女教育の責任 井戸の秘密(奇談)

尺八について(研究) 新歌舞伎研究會(座談) 西市(花柳小說) 善光寺夜話(成金逸話) べらんめい俚諺集(雜錄) 婿に入る迄(漫語) 王堂と孝子(月旦)

長崎土產 萬亭夜話(歷史小說) 遲塚麗水

溫泉巡り 桂昌院(歷史小說) 本田美禪

奇々怪々 狸の六兵衛(怪奇小說) 稻岡奴之助

大懸賞募集 賞金品千數百圓 俳句一等百圓二等五十圓 川柳一等百圓二等五十圓 其他各種受賞者數百名

左利叢話(座談) キンポウゲの寶(お伽噺) 敵森村男(逸話) 女ごころ(情話) 呂昇記(演藝) 猿と後家 寒紅梅(落語) 新型模樣(傳說)

劍客奇譚 荒木又右衛門(武勇講談) 坂東太郎

溫泉巡り 毒饅頭(家庭小說) 渡邊霞亭

天草騷動 焦熱地獄(歷史小說) 大橋青波

金原亭馬生(傳記) 成金時代(逸話) 自慢の珊瑚味(新作落語) 百萬圓(活動) 初代團十郎の死(劇話) 古今風流函(小話) 金山平三 圍碁 虎の卷(必勝研究)

光の秘密 雉色の眼(探偵小說) 蘭秋郎

滑稽無類 冗舌醫者(新作落語) 柳亭紫

一讀三笑 夫婦喧嘩(滑稽小說) 高橋淡水

發行 東京本鄕 大日本雄辯會 講談社

痛快無比新年號

少年俱樂部

大附錄 オリンピック大競技双六 何でも誰にも非常に頗る面白い

滑稽大學(滑稽名畫) 新らしい春を迎へて… 鶯大臣(愛讀物語) 春待の家(民謠) 繪物語(四季の花) 頭山滿(名士立志傳) 年神樣(童話) 冬が來た(新詩) 紅・椿(童謠) 生れ變り 猿九題 神國の民

◎中等學校入學模擬試驗 答案懸賞募集

少年小說 黑船物語 沖野岩三郎

武藝修業 稻妻雷助 大河内翠山

歷史小說 眞田大助 渡邊霞亭

八郎爲朝 田中義成

大力無双 愉快少年 江見水蔭

熱血小說 倫敦塔 宮崎一雨

少年軍事探偵 西川虛空

此外それはそれは痛快な讀物がぎつしり載せられてあります

大日本雄辯會

委任統治讓歩 差別撤廢前提
日本主張觀察

倫敦五日發＝巴里に於て日本の委任統治問題に關する讓歩を以て人種差別撤廢に對して更に努力せんとする前提なりと觀察せられつゝあり蓋し日本は聯合國總會議の再會を待て各殖民地に於る委任統治權平等を主張せんとする者にして一、國際聯盟は各加入國の被統治地における委任權に關して差別を附すべからざる事二、統治權を委任せられたる如何なる國家も聯盟に加入せる他の國家の利益を侵害するが如き法規を制定すべからざる事三、統治權は單に聯盟に依り寄託せられたるものなるを以て講和會議に於て統治國の法規は直ちに被統治國に適用さるべく規定せる精神は決して無制限たるべからざるとの三箇條を力説すべく若し不成功に了らば日本は聯盟會議第一回會議に於て飽迄もこれを論爭せんと信ぜらる（東京電報）

保留論者の斷言
妥協的解決稍明確

華盛頓講和條約保留論者九名の斷言する處に依れば講和條約に關する妥協的解決は今や明確ならんとしつゝあり前國務卿ブライアン氏は聯盟規約第十條の保留を中心とする妥協案を提議し其解決に盡力中也と稱せらる（華盛頓電報）

アドリアチック問題協議

伊國首相ニッチ及びスキャロ氏はアドリアチック海問題解決に關し英首相及び外相と會見しつゝあるが領土に關する解決に就ての聯合國の意向は其後變化する所無しと傳へらる（倫敦電報）

勃牙利叛亂鎭靜

勃國首府にだける國王排斥暴動は警官の手により鎭靜に服したるが死傷者夥し（巴里電報）

英使節交渉再開

英國使節オグラデイ氏は過激派代表と交渉再開の爲三日朝コペンハーゲンに向け倫敦を出發せり（倫敦電報）

靳總理踪跡を晦す
大官連同時に退京す

國務總理靳雲鵬氏は去三日突然北京を去り踪跡を晦ませるが同時に朱深、曾毓雋、曲同豐、吳炳湘、龔灣光、張懷芝氏等十四名も退京せし爲め市中は大恐慌を來し店舖を閉鎖し人心恟々たり（北京電報）

張勳熱河都統説

張勳氏は熱河都統たる可しとの説あり（北京電報）

西伯利軍全滅
イルクツクは四日社會革命黨軍の手に歸す

イ市社會革命黨軍の手に歸し西伯利政府軍は全滅せり日本領事等は五日チタに引上げ市內大混亂を呈す加藤大使は未だ引上げ來らず（哈爾賓電報）

浦塩探偵局長上京

暗殺されたりと傳へられたる浦鹽探偵局長ペゼウイッチ氏は夫人同伴七日朝敦賀著上京せり（敦賀電報）

コ提督行方不明

コルチヤック提督は行方不明となれり（哈爾賓電報）

西伯利增兵問題 我態度決定迫る
注目すべき九日の閣議 陸軍側漸く成案を得

西伯利の現状の重大なるは既電の如くなるが形勢は刻々として險惡の度を加へ來れるを以て我が陸軍當局にては大に之れを憂慮し種々協議中なりしが最近漸く成案を得田中陸相は山縣公を小田原に訪問し之れが状況を報告する所あり九日の閣議に附したる上愈々態度を決定すべしとの事なるが該問題は屢々報道する如く聯合各國との協調の必要上米國の回答を待つて決定せらるゝ筈なりしも西伯利の形勢變化は何時迄も之れが遷延を許さざるのみならず駐米幣原大使よりは國務卿ランシング氏の諒解を得たるも同政府部內の形勢は速かに之れを決し難き事情ある旨の報告ありされば我國としては此際增兵決行の上事後承諾を得るに非ざれば現在の出征將卒を無意義に死傷せしむる迄に形勢切迫せるを以て出兵に關しては速かに態度を決せざるべからざるに至りたるものにて九日の閣議は最も刮目に値するものと察せらる（東京電報）

高田師團へ重大命令

高田第十三師團の陸軍始め觀兵式は八日午前十時步兵第二十二旅團長三村少將指揮の下に擧行せられたるが是れより先き午前八時重大命令下りたれば當日の觀兵式は士氣大に振へり重大命令は一兩日中に發表の筈なるが右は同師團殘部に對する西伯利出征の命令なるべく多分來る十七八日頃出發すべし而て出征部隊は高田松本の兩步兵聯隊騎兵第十七聯隊野砲兵第十九聯隊輜重兵第十三大隊等の特科隊なるべし（高田電報）

過激派根絶困難
セ將軍慈善食堂設立計畫 ホルワット將軍更に振はず

瀬尾セミヨノフ將軍顧問は八日朝關釜連絡船にて下關著東上せり其の談に曰く今や全露國は寒氣と物資缺乏とに依り疲弊困憊の極に達し居れりセ將軍は是れが救濟策としてチタに一萬人を收容すべき一大慈善食堂建設計畫を立て近々建築に取り掛かることゝなり居れり然るに一方ホルワット將軍は總ての方面に於て甚だ振はず彼の米國より借欵せる二百萬圓は鐵道の借用に當てらるゝものなりと噂され居れり近來交通機關杜絶の事故頻發し困難を感じ居れるよりセ將軍は是れが回復の爲め盛に裝甲車を使用し居れりされど昨今全露に遍在せる過激派の總數は一億數千萬と註せられ其根絶は到底容易の業に非ざるべしセ將軍は正義の爲め起ちたるものにして佛蘭西は月額七千萬圓宛を彼に送りつゝありしが最近彼の地佛國領事館に過激派の潜伏し居れるよりセ將軍部下は逮捕に向ひたるに既に過激派の逃走後にて其殘留品を取りて歸りたるに北京駐在佛國領事はセ軍が同領事館に竊盜に押し入りしが如く誤聞し抗議せり是が爲セ將軍は恩なり然れども竊盜に押し入りたりなどゝ抗議せらるゝことは面白からずとて斷乎として月々の給與金を謝絶することゝなりたり（下關電報）

薨去せし芳川顯正伯

狙仙筆

南洋統治と海軍省

講和條約による南洋諸島の統治は當分の內海軍省に於て行ふことゝなれり（東京電報）

官吏任用令
樞府委員會可決

官吏任用令に關する樞密院委員會は八日可決々定を見たるが大體に於て政府原案を承認する事となりたるものゝ如し即ち右は運用を圓滑ならしむる主旨より特別任用の範圍も擴大し國政の各省次官兩院書記官長各省勅任參事官一名法制局長官警視總監警保局長等を特別任用とし大隈內閣時代の正副參政官は之を廢止する事となるが如し（東京電報）

芳川伯

病氣危篤を傳へられたる芳川顯正伯は八日午後一時遂に薨去せり享年八十（東京電報）

略歴 故芳川顯正伯の家は祖父の代より醫師として知らる祖父を原田省齋と云ふ其子民部が父の業を繼ぐ伯は第四子天保十二年十二月十日を以て生れ夙に有爲の才を抱きて天下の志士と交る後伊藤公と共に米國に遊び明治四年紙幣權頭に任じ爾來外務工部內務の各少輔東京府知事內務大輔司法次官文部大臣宮中顧問官兼內藏頭帝室會計審査局長司法內務遞信大臣等に歷任勳功を以て子爵を授けられ特に大臣禮遇を賜ふ後貴族院議員となり日露事件の功に由り伯爵に陞る多年樞府副議長の要に在りしも大正六年故ありて之を退き晩年閑地に在りたり

御慰問使出發

西伯利派遣兵慰問及び視察の爲め差遣せられたる桑田侍從武官は小關副官を隨へ八日午前十一時東京を出發せるが同武官は西伯利派遣兵に下賜さるべき恩賜の煙草及び角砂糖等を携帶せり（東京特電）

勞働委員著期

鎌田勞働大使橋本勞働代表田中孝子女史其他勞働委員一行の搭乘せる東洋汽船西伯利丸は十三日横濱入港の豫定なるが同船には米國女優三十餘名も搭乘し居れり（東京電報）

滋野男上海發

滋野男夫妻は七日上海發の加茂丸にて歸朝の途に就きたり尚ほ林代議士も同船せるが同代議士は與國批准の全文を携へ居れり（上海電報）

總督府に黨派無し
＝記者招待の席上＝ 齋藤總督の言明

齋藤總督は既記の如く八日午後六時より總督官邸に於て在京城記者團の各社代表者として牧山、大垣、松尾、此經、井上、青柳等の諸氏を招待し主人側として總督の外に赤池局長、青木部長、安武、白上兩課長、守屋、伊藤兩秘書官、丸山事務官等列席し席上總督より相互の健康を祝して乾杯あり別室にて歡談中大垣京通社長は新聞に關する注意並に總督に對して朝鮮の統治は政黨の外に超然たるべき希望を述べしが右に對し總督は概略左の言明を爲せり

只今大垣君の所説に對しては予も同感にして異存ある者に非ず、予個人は素より朝鮮總督府には黨派なし、豈に政友會、憲政會の差別あらんや、過般山道代議士が自分は反對黨なればと歸せば故予は直ちに朝鮮總督府には反對黨なし從て其黨派に依り親疎輕重を爲す者に非ずと答へ又牧山君の新聞經營に關しても予は其朝鮮に於ける經歷と實力を知るが故に同意したるも政友會員たる事は何等の關係もなく又其政友會なるが爲に殊更に如何ともするの理由もなく必要もなしと信ず、此點は同君にも當時言明し置きたる處にして予は特に一般の諒解を望み置く次第なりと

尚ほ歡談の上一同總督の健康を祝し同九時半散會したり

北鮮興鐵
本社京城設置に變更

咸北會寧より輕春方面へ輕便鐵道を敷設し一般貨客の取扱及び並に木材の輸入運搬販賣及びパルプ製造等を爲すべき北鮮興業鐵道株式會社（資本金一千萬圓）は客臘二十二日附け發起人笠井愛次郎、立川勇次郎、坂口拙三、林田龜太郎、稻垣甚、井上宜文、李允用男、韓相龍、趙鎭泰、芮

列國借欵競爭（四）
何ぞ速に支那財政の急を救はざる 我が國民の戒心一番を要求す
法學博士 小林丑三郎氏談

對支經濟的借欵 元來借るものは支那政府であるから如何なる名目で借金したとて實質に異なる處はないが經濟的借欵と政治的借欵とは其の目的を異にしてゐるので實業、鐵道等に關するものを經濟的借欵と云ひ其の他のものを政治的借欵と二分するに至り且つ各國合議で條件を承認せざれば借欵を許されなかつた五國借欵團時代よりも自由に各方面の借欵を許さるゝ便宜を得たのである、元來支那では借欵團と借欵とは支那を亡ぼすものであるとの説があるこれも一つは借欵に對して各國全部の同意を經なければならぬやうな制度に對して放たれた聲であらう民國設立以來の支那借欵を見るに民國二年

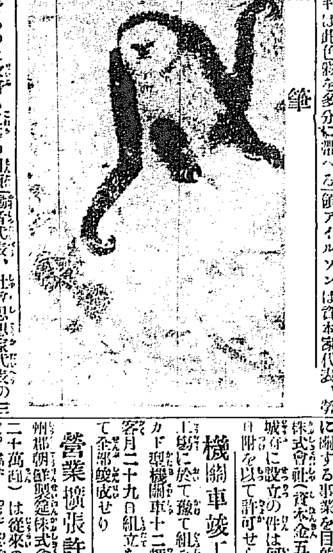
墺太利より 二回に亘るスコダ借欵三百二十萬磅英國の浦信鐵道借欵三百萬磅同三年三回目のスコダ借欵五十萬磅中央公司借欵三百五十萬磅伯支銀行借欵四十萬磅佛國の中央借欵四十萬磅、鄭江鐵道借欵百二十八萬四千磅英國の道濟鐵道借欵八十萬磅五年日本公和公司途行借欵五百萬圓シカゴ貿業銀行の借欵五百萬弗七年マルコーニの無線電信借欵六十萬磅等にて都合四千萬磅を算してゐる我日本は之等に就ては甚だ後れ馳せの氣味があつた日支親善の聲は久しく聞いてるが何分にも資金に乏しき日本では中々實現することは出來なかつた

五國借欵の 時も他國から補つて貸てやつた位であつたが歐洲戰爭以來は正貨の流入著しく日支親善を具體化する此機に在りといふ聲と一つは物價騰貴を防ぐため海外投資獎勵のため一大活躍をすることゝなつた戰前民國三年の統計に依れば日本の對支借欵は中央政府のみにて七千五百萬元を出なかつた然るに今や漸次其の額を增し大隈內閣の末より寺內內閣時代に亘り躍進を示した即ち民國六年の一月九月の兩度に亘り交通銀行借欵二千五百萬圓同八月千萬圓七年四月郵船電信借欵五千萬圓一月及び七月の二回に亘り二千萬圓六月吉會鐵道借欵千萬圓八月黑吉森林礦山借欵三千萬圓九月滿蒙支鐵道借欵二千萬圓及び濟順高徐鐵道借欵二千萬圓等にて合計一億七千五百萬圓に及び從來對支投資額は世界の第五位にあり日本が茲に於て英國に次ぐ第二位を占むるに至つた若し之に

滿洲の投資 を加へれば日本は支那投資額に於て世界の一位を占むるものである併し日本は大戰後東洋に經濟的競爭の行はるべきを豫測し之れを恐れたる爲めか甚だ功を急ぐの傾向があつて今日は手を措いて他の爲す處を傍觀する態度であるが政府の豫期せる事實が漸く現れ來らんとする今日決して手を空しくして居る時ではあるまいと思ふ大正七年の九月內閣更迭以來我對支政策は面目を更め若し支那が南北統一を實現せぬ限り一切の借欵を打切ると聲明してゐる然るに日本の借欵打切り後諸外國の借欵は其數を增し目下交渉中のものは夥しい額に達してゐる昨年の夏米國より渡來したるアボット氏の歸來後引續きて支那の顯元氏の渡米となり米國の資本家と共に歸來して以來米國の對支投資は頗る盛んとなり今や

將に白熱化 してゐる而も米國資本家は天津附近に築港して大貿易を開始し又南方には大貿易會社を設立し棉花等の取引きを盛んならしめんとし又六國借欵團以上の借欵團を組織する等今や米國が支那南北に亘る計畫は實に大々的なるものがある南方に於ける大會社は呼の豫定で其の株主の內には支那の有名な人々も決して尠からざる由である、支那が財政上の窮地を脱するため我日本に借欵を申し込めるにしても南北統一せざる限り應じ得ぬ事もあり、又泰然たる裡に他の裏面には既に斯かる經濟的大競爭は行はれつゝあるのである支那人士の對米態度を見るに南方にては既に米國に對する諒解多きに反し北方にては未だ然らざるものがある、併し乍ら北方側も亦我日本の借欵打切りに依つて大いに窮しつゝある際なれば果して何時迄

今日の状態 が續くかは疑問である聞く處に依れば急借欵として英米佛の三國は五百萬磅を與へんとして居るといふ事であるが我が日本も今や大いに考慮しなければならぬ秋ではあるまいか吾人は日支親善の上より對支借欵の大いに必要なる所以を信じ呼號するものである（東京支局）



牧谿筆

食糧調節に就て
西村殖産局長談

總督府は直接滿洲に於て粟の買付を爲し朝鮮內に配給すとの説流布せらるゝ趣を以て事實の眞僞に付き當局の意見を求むる者あり右は屢々新聞紙上又は其他に依り公表したるが如く本年は旱害に依り一般食糧に不足を生ずべき見込なるを以て總督府は之を調節する爲滿洲産穀類の輸入を歡迎し之を獎勵する爲便宜を圖らむとす即ち既に滿鐵會社に交渉して陸上運輸の確實を期する爲特に貨車の配給を圓滑ならしめ尚ほ主要驛には倉庫を建設して輸入穀物の保管及金融に便じ又海上運輸に付ては運賃を補助する爲近く規定の發布を見むとする状態に在り其の促進に付きては斯く努むる所にありと雖も高梁を除くの外粟穀に付ては買付を行はず全然商人の自由に開放するものなるを以て當業者は何等顧念する所なく買付を爲して可なり又總督府に於て直接購入すべき高梁と雖も其の買却に付ては時價に依るものなるを以て是亦市價を紊るの懸念を要せず當業者の買付を妨ぐるところなかるべし

米國の過激派思想（一）
勞働問題の共産主義化 黑人の自覺と過激化
在紐育本社特約員 劍橋生

戰後行はれた製鐵勞働者のストライキは此色彩を多分に帯べるものであつた政府も之等の問題には頗るなやまし一方

司法卿として 之等過激思想者を拘束した、而して其多數は海外移民にして、まだ米國民とならざる者であつたと云ふ、かくの如く一方過激思想を壓迫すると共に他方之等を未發に防がんとて大統領ウイルソンは資本家代表、勞働者代表、社會思想家代表の三代表二十二名をワシントン市に招待して切迫せる勞働問題を議した、招待されし人の顏振れは資本家側にはロックフェラーあり、勞働者側には例のゴムパース、尚一般人民の代表者としてはハーバード大學總長たりしエリオツト博士あり、スパルゴ及びラツセルの如き社會主義者もあつた然し乍ら

此勞働會議 は勞働者側より呈出したる集合契約の主張容れられず、爲に失敗に終つたウイルソンは此失敗に鑑み今度は全然新なる方面より委員十七名を選んだ、選まれた委員の多くは政治家で、經濟學の專門學者も包含してゐる、ウイルソンの招待状には「現在直接の問題を議するは本會議の目的にあらず、如何なる根本主義の上に立てば最も良く勞働問題を解決し得べきやを議せんとするに在る」とあつた、之は十二月一日より開催せられる、要するに

國目下の**勞働問題とは** 過激思想家より主張せらるゝ共産主義的傾向を如何に解決するやにある、目下ワシントン市に開催せられてゐる、萬國勞働會議の中心議題は八時間勞働制と少年幼婦人勞働等の問題とは關係がない、最近の炭礦夫のストライキの如きはすでに六時間勞働を主張してゐる時代である、故に萬國勞働會議の議題の如きは米國人の輿論を動かすに足らず、新聞紙なども一週間に一回位、それもほんの隅つこに申譯的に一寸書いてゐるに過ぎない。

鮮銀店長更迭説
事實無根

阿部鮮銀支店長は近く外遊の途に就き其後任として小西奉天支店長轉任し同時に鮮銀支店長級に多少の異動あるべしとの説傳へられ某紙上にも揭載されたるも事實は全然跡方もなき風説に過ぎざる由尤も鮮銀の方針としては時代の要求上之を必要と認め且つ一部には漸に其の實行を明しつゝあるが未だ阿部氏の外遊に對しては問題となり居らずと

定例局部長會議

九日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議開催水野政務總監以下各局部長出席重要事務に就き審議する處あり正午散會せり

會社設立許可

全北金山郡浦面今村一次郎外十九名より豫て申請中なりし齊牛の貸付牛乳及び其の他の家畜家禽の賣買等を目的とする全北畜産株式會社（資本金二十萬圓）を同金山郡に設立の件慶南昌寧郡大塚百石衞門外七名より申請中なりし乘合及び貨物自動車營業を目的とする昌寧自動車株式會社（資本金十萬圓）を昌寧郡に設立の件及び釜山府埋立新町金時漁外九名より申請中なりし米、雜穀、肥料、綿絲布、綿反及海産物貿易等を目的とする株式會社東成商會（資本金五十萬圓）を釜山府に設立の件、京城西大門町白瀨深外八名より申請中なりし藥品貿易輸入販賣其の他藥業に關する事業を目的とする株式會社（資本金五十萬圓）を京城府に設立の件は何れも一月六日附を以て許可せられたり

機關車竣工

京義鐵道工場に於て豫て組立中なりしマカド型機關車十二輛の中一輛は客月二十九日組立を了し之を以て全部竣成せり

營業擴張許可

全北全州郡朝鮮製絲株式會社（資本金二十萬圓）は從來の營業以外に山林其他の農事經營及製藥資金の貸付業を爲すべく豫て申請中のところ十二月二十五日附許可せられたり

司令官會議列席

陸軍省にては來る二月二日午前九時より全國師團司令官を召集し各種事項に就き會議開催の筈なるが第二十師團よりは[illegible]主任宮崎信路少佐列席する事に決定したり

准尉試驗施行

第二十師團管下各部隊の准尉候補者試驗は來る十五日より七日迄師團司令部樓上會議室に於て實施すべし

溫泉里現地戰術

步兵第八十聯隊第三大隊長[illegible]太郎少佐統裁官となり來る十一日より十一日間溫泉里附近に於て現地戰術を行ふべしと

多田氏逝く

[illegible]多田作兵衞氏は[illegible]の長老福岡縣[illegible]の感終に二日逝去せり享年七十八歳（福岡）

日銀帳尻

一月七日現在日銀帳尻左の如し（東京特電）

發行高	一、三三九、二六一、〇〇〇
正貨準備	九五一、三七四、〇〇〇
限外發行	二六七、八八七、〇〇〇
貸出高	五八五、〇四八、〇〇〇

○鮮銀券發行高 一月七日現在鮮銀發行高左の如し

發行高	一五八、八七八、八四三
正貨準備	六一、〇二〇、[illegible]
限外發行	四七、八五八、四三〇

○京管局社友會擴張 京管局社友會に於ては豫て調辨部を設け社員に對し米麥を始め其他の日用品の廉價販賣を遂行しつゝありしが今回更に龍山鐵道構內と[illegible]に分配所を新設し[illegible]物品の種類を增加し且之が速達を圖ること

懸賞川柳
剱花坊先生選

牛

○牛塚で今年も死んだ噂なり　大田　夢外

○牛飼になりたい春の太平野　永登浦　箕園子

○大牛が曲り角から顏を出し　北　柳好坊

○大牛の背に悠然と長煙管　平壤　風來坊

○手品師のやうに百姓牛を飲み　黄金町　麥酪坊

○牛頭馬頭に責めらるる牛殺し

○すき燒に二階を下りる居候

人事消息

▲大塚勞務官 政府委員として議會に出席の爲來る十七八日頃出發東上すべしと

▲瑞西公使一行二名 來る十四日東京發朝鮮經由北京に赴任すべし

▲安藤又三郎氏（京城局鐵道課長）病氣引籠中の處全快九日より出勤

▲小田網獅課長 九日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

▲李王職事務官 九日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）

寸鐵

原首相は年頭に「我々日本人は鐵の如き國民性を理想とする」▲理想は堅硬なること鐵の如く鍛鍊し得らるゝこと鐵の如くあらねばならぬ▲或は石の如く或は鉛の如くあつてはいけない鐵は進歩の最も程好き調和を得て居る▲徒らに外來思想に動かされる者は鉛で全然世界の大勢に感應し得ない者は石であるといつてゐる▲而うすると今度の西伯利增兵に米國の鼻息を窺ふ點は鉛で巴里公會に委員の口を緘せしめたのは石の一例だらうか▲俗諺に曰く「磨いても地が鐵ならば、何うせ地金の錆が出るよ」▲雪が降ると電話が不通電車が停まるでは京城の交通界も心細いのだ▲雪は純白で純白は活動から云へば無能を示すものだがまさか其處迄の諷刺でもあるまい▲雪と云へば鬼門の連中もあらうが流感が下火になつたのは雪の爲だと聞けば大に歡迎せざるを得ない大凡そ天下の事は一利一害と思つて居れば腹も立たない▲寸陛子の友人狂歌を寄せて曰く「木の實をば、猿に食はして此の身をば、猿に食はして」と云ふ猿曳と▲而して「此句を味へば勞働問題も一時に解決致す」は大に振るつて居るが云つて來た奴が又猿曳だから大に振つて居る

清水東雲試筆 (田家早梅)

たり該建築は二階建六數室一棟にして損害約五六千圓なるべしこ(釜山)

九歲の擾攘ひ 店頭から手當り次第

一月六日の寒い雪の中を可愛らしい一人の餓鬼が巡査に伴れられて仁川警察署へ行つたまだ僅く九歲、人前ならば碌に物も言ひ得ぬ年頃の幼年が何の事かと調べて見ると此の小供は所謂店頭の擾攘ひで其處の店先に晒した綿衣を一枚或は襟卷を一ツ此處の店先では足袋を一足手袋一ツこ欺へ來れば容易ならぬ惡少年こ聞いて見れば不憫な筋が判然こある然るに此の兒は今に天涯の孤兒で家もなければ

兩親もなく 兄が一人

あるが今內地に出稼ぎして飴屋稼業で勿論音沙汰もない。唯其の姓名だけは金文允(九)こ判つて居るが何れ京城の生れであらう先頃迄は世話する人あつて

京城旭町の 某內地人

家庭に兒守に入つてゐたがツイ四五日前仁川に來て伯父に當ると云ふ栗木里の金永國なる家に寄寓したが追出され仁川の或る仲帳場に住み込んだが性來の手癖が惡き爲め此の始末に及んだものだと云ふ(仁川)

東蒙地理談

奉天滿鐵公所 (一) 鎌田彌助(寄)

西方より蹤商來るこ初日見る東部蒙古なる名稱は先年の南滿に關する日支協約成立數年前より新に起りたる呼稱にして別に地理的若くは政治的固有の名稱でなく、之に確然たる分界を附することは目下の處甚だ難しこする所であるが、一說によれば內蒙古全部に外蒙古中車臣汗、土謝特の二部を加へたる者であると謂ひ、又一說によれば主として東四盟即ち哲理木盟、卓索圖盟、昭烏達盟及錫林郭勒盟を指すのだこ謂ひ、其他諸說あつて未だ一定して居ない。尤も吾輩個人としては之に對し多少の意見を有しないでもないが、事外交に亙るを以て敢て之を發表するの時期にあらずこ思ふ。

又東部蒙古こ滿洲この境界線に至りては、松花江及び柳條邊牆を以て之を定むこ稱する者もあるが、此は地文的關係こ人文的關係こ相錯綜し居れる爲め、其判定甚だ難きものあつて是亦未解決の問題こして殘されて居る

◎蒙古では山のことをオーラこ言ひ、峯をハタこ言ひ、嶺をタバ、沙丘をヤンハこ稱し、興安嶺は之を特にイホ、ブイヨウこ稱して居る。

尚又河のことをゴル、江をムリンこ稱し、湖は普通ノールこ言ふので、蒙古の地圖を開いて見るこ、何々オーラ山こか、何々ハタ山こか何々ゴル河こか何々ムリン河こか或は何々ノールなど、言ふやうな名稱を發見するであらうがいそれは結局蒙古語を解せざる支那人殊に迂の鹵輸入或は蒙古語の素養なき人士の誤用であつて、明かに名詞の安價なる重複濫用である。

◎借て東部蒙古の地勢は瀚漠無邊の平原が洮兒河、西剌木倫流域一帶に地位を占め其西方に接して興安嶺南北に蜿蜒し、其餘波は遠く山巓をなして南東方一帶にも及び其間多少の沙漠を包有して居る。而して興安嶺以西は大概して沙漠地帶を形成して居るが、東西烏珠穆沁の如き好牧場も亦其の間に展開して居るのである。

小學校倒潰

落成に棟式を擧げし絕影島釜山第四小學校

當州竹本熊次氏の請負に係る絕影島に增築中なりし釜山第四公立尋常高等小學校は昨年末に棟式を擧げ今年三月三十一日其竣工期限なるを以て着々工事を急ぎつゝありしが七日夕より吹き募りたる暴雨の爲め全部倒壞し(釜山)

蔚山行自動車 豫て蔚

山、釜山間及び蔚山經由慶州間の自動車運轉許可申請中の處蔚山自動車組合に認可ありたれば去る一月一日より運轉を開始せるが蔚山釜山間は僅か三時間にして達し得べく一日三回の往復をなしつゝあり(釜山)

禪堂生活 (廿六) 人間の改造

典座寮 (飯炊き)

衲は雲齋に行つても、專念工夫のため、齋座も食つたか食はなかつたか分らなかつた。先刻失敗した湊川、隨伴して通る楠公討死の古戰場、いでや復讐こいはんばかりに『古帆未だ掛けざる時如何』こやつた。『かけて後如何』『電光石火』また失敗したこ頭を掻けば老大師笑つて『此の位の事は胡飯茶漬で無からにや天下の衲僧こはいはれない骨折れ〳〵』……其の內に交代が來た。衲は助警に昇進して、今度は典座寮の寮頭になつた。即ち飯炊坊主になつたのである、餘程修行が出來ぬこ飯炊坊主にはして吳れぬ。便所掃除にはまだ〳〵前途遼遠たることである。即ち新參者には雜務をさせず、眞理の究明に專念せしめ、古參者が可成困難な勞役をするこ云ふのが禪堂の特色だ。此處らのことは鳥渡世間の人の諒解に苦しむ處であらう併しこの禪的精神が、一般に徹底するに至つたら、現今世界の識者連中が大騷ぎをやつてる資本家對勞働問題の如きは、飯前に解決される道理である。

飯炊は三人で二日交代に五十人の食ふべき調庖をするのだ、厚司姿に大火箸、如何にしてもボーイか三助にしきや見れない。けれごも雪峰和尙の如きは、久しく德山の會下にあつて典座(飯炊)をして居つたが、千五百の普智識は、皆我が杓頭邊より汲み持ち來るこ云つた。なんこ壯快な一大獅子孔ではあるまいか故に典座寮を一名雪峰寮こもいつて、三役の一になつてゐる。朝は天井粥、晝は四分六の麥飯である。然し此の飯炊きこいふ學問?もなか〳〵難しい。高位高官の奥さんや、金持の御孃さん達は、よく女中の炊いた御飯の小言をおつしやるさうだが、一寸御飯を炊いて見て御覽こ云へば果して如何。御自身實地經驗こ來た日には甚だお氣の毒こ云はねばならぬかも知れぬ。固いのや、焦け臭いのや、お粥のやうなのは能く炊くが、批難のないのは其極意見外にあつて、只口先や手では敎へられない。只自ら發明し會得すべしである。殊に禪堂の炊事は難しい、一度失敗するこ大衆が食はない。殘飯が出來る、批難の聲は高まる實際泣きたくなる、彼の大きい釣瓶で水をあけて米の五六斗も淘洗苦しさつたらない。殊に施餓鬼のある時などは客飯を澤山に炊かねばならぬ、必ず何んこか批評が出る、隨分厭になる、そこへ車夫が竈の火を付けに來て、衲等を寺僕こでも見たのか『お前さんの給金は幾らだ』こ聞く、麁給だこ答へるこ、そりや酷い、暇貰つて貸席のボーイに行かんか、好い給金が取れるぜなんかこ云ふ。噫、世の中は斯くもあるかこ、衣著更へて出て行く姿を見た車夫先生、怪氣な顏をして、おやつ坊さんだつたかこ云ふ。隨分辛い面白いことも多いのぢや。

平壤と火災

大正八年中に於ける平壤火災狀況を聞くに燒失戶數六十七戶此損害高二萬三千三百四十圓にして之を前年度に比すれば戶數に於て二百を減じ損害高に於て七千四百三十三圓を減し居れり而して月別により燒失戶數を見るに一、八、十二各月の九戶最も多く三月の八戶之につぎ五月の二戶最も少かりしが右は主として冬期間の焚き火多きに起因せるものなるべきも平壤の如き人家調密の所に於て斯の如く比較的出火の少なきは稀に見るの良現象なりこ云ふべし(平壤)

散財中捕る

府內樂園洞百五十二番地下宿屋具鴻書方玄鳳俊(二九)は客月二十五日午後十二時頃同家投宿人なる忠南洪城郡銀河面長谷里三百五番地穀物商李聖振の熟睡に乘じ同人所有現金千四百八十三圓八十錢入財布を竊取直ちに新町開清樓に登樓大散財中を鍾路署の密偵に追込難なく取押へたるが取調べの結果七日檢事局に送られたり

妓生泣かせ

府內松月洞八十三、安興根(三七)は十二月廿二日午後五時頃命洞廿三、妓生李容姬方にて飲食中家人の隙に乘じ同家內房より懷中時計十四圓を竊取逃走したるが間もなく鍾路署の手に檢擧され八日檢事局に送らる

大邱の流感 猖獗を極む

大邱に於ける流行性感冒は其後益々猖獗を極め客月三十一日迄は約二百人位にして一日の死亡者三四名に過ぎざりしに本年に入り急に昨今は患者約五百名に達し死亡者平均一日十名乃至十五名の多きに達し斯場の如きは死亡者の收容に大困難を來し日々十名內外の死體積載しある狀態なるを以て府民一般は非常なる恐慌を感じ居れり其れがあらぬか當地の花柳界方面は例年に比し多少寂寞を極め居れり

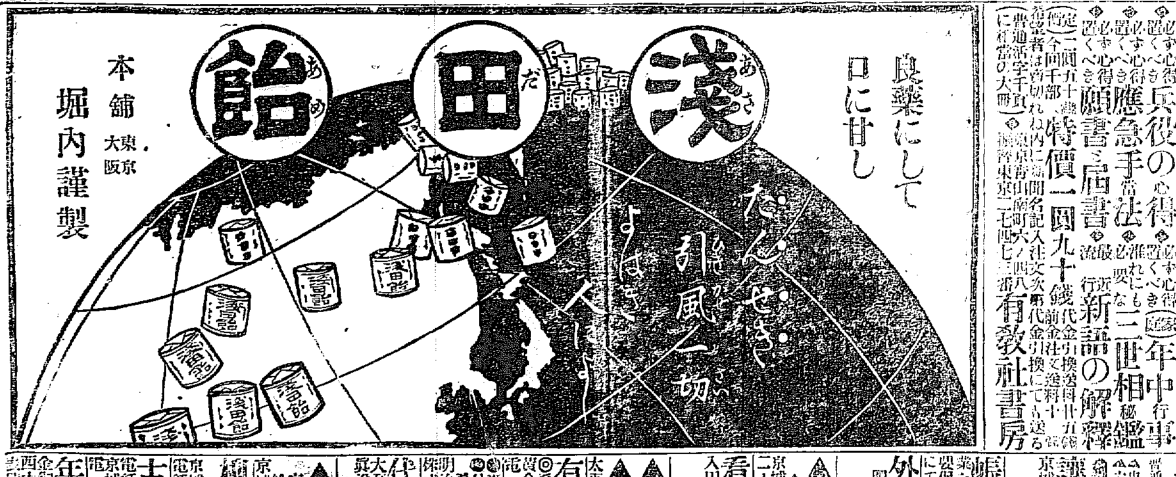
米國製正十四金イルジウム付ペン付
BB形太軸金飾付 金拾八圓
同上無飾 金拾貳圓
安全携帶式金飾付 金八圓八拾錢
同上無飾 金六圓八拾錢
最新彈力吸入式 金五圓八拾錢
安全インキ止實用向 金參圓八拾錢
同上特別金飾付 金六圓八拾錢
同上無飾 金四圓九拾錢
京城府 京城日報社代理部 振替京城三百番

最近各種夜光時計 各國大流行
夜光時計は暗いごとも暗ければ暗い程光を增す
永久不變 無双中蓋付 金側夜光時計
十二圓 十五圓
金色で吹々こして山吹色を呈し 永久不變
ミカド商會

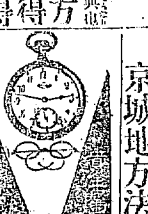
金は入らぬ りうまち 森本宅

肺病の解決 無代進呈
東京藥化學研究所

目ニ見エテズンズンキクシマズイタマヌ
井上博士 ロート目藥
ロートノコレリ通
本舖 東京・大阪 山田安民藥房



座右顧問
頗る便利重寶に出來たる 新撰 百科 日用文庫
何人にも必要なる
其日からスグに役立つ
男女萬人必備の大寶典
世間の挨拶 儀式こ作法 手紙一式 法律の一般 葬式 婚禮 出產 兵役の心得 應急手法 願書こ屆書
契約の書方 納稅の心得 茶道 和洋食方 和洋服の著方 祝辭こ演說 秘法全集 年中行事 三世相秘鑑 新語の解釋
特價一圓九十錢
有敎社書房

謹賀新年 丸島運送店
公示催告 京城地方法院
川合時計店

京日案內
青山商會
外勤社員採用
古本高價買入 文光堂書店
看護婦及見習看護婦 佐藤病院
英語科 鮮語科
有給社員招聘 有隣生命
採用 錢屋店
代診並看護婦
仕上ゲ工
鐵工入用
槇行李華艶專門 但馬屋
古ミシン高價買入 楠商店
年金恩給 江州屋本店

胃病ならイの一番 イカイ胃散

驚くべき藥効
イカイ胃散は一時的の消化藥にあらず、根本的に胃を強壯にし消化力を增進す、一度イカイ胃散を服用せば、胃に無限の爽快を覺ね、胃病に特有の不快の惡は消失し、食慾こ元氣は著しく增加すべし
定價十五錢、卅錢、五十錢、壹圓、貳圓
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郞藥房

內科 眼科 小兒科 本田病院 附屬京城肛門病痔疾療院

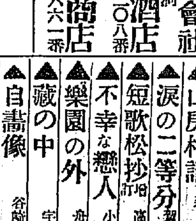
賜天覽 よろづや足袋
西にも東にも唯一つ 本當にはける足袋!!!
よろづや足袋株式會社
工場所在地 岡山縣淺口郡船穗

內科 婦人科 イマモト醫院 旭町壹丁目(京城府廳裏通) 電話二八五二番

優等清酒 賀茂鶴

廣島縣西條町 賀茂鶴酒造株式會社
京城代理店 河野酒店
特約店 松屋商店

內科 胃腸病 石川醫院

最新刊
平和條約 近古禪林叢談 山房札記 涙の二等分 短歌松抄 不幸な戀人 樂園の外 藏の中 自畫像
大阪屋號
釜山商店案內
島田糸店

あづまや
洋酒・罐詰 糖粉・官煙
酒精 燒酎 白米碎米 糖麥粉 福榮商會
洋鋼鐵道船舶材料其他工業諸器械附屬品商 角野商店
石鹼界之覇王 スマートシトロン
精選品質本位
青竹直輸入販賣 豐後石炭 海產物肥料商 左官用海草 萬荷受問屋
三谷商店
サンエス 萬年ペン
山西合名會社 糖粉・乾物 食料品・煙草 罐詰・雜貨

國境横斷旅行(八八)

鴨綠江下りつ

鴨綠江の一名所たる 赤壁の絶壁下を下り 梨坪こいふ小村に一泊

今し望江流の絶壁の頂上に望江樓？の築造中

中江鎭にて　特派員　伊藤韓堂

…の砂原を抜くると左右の兩岸は嶮しく迫つて

標高二千尺に

近い斷崖絶壁は江流を壓して數十尺、數百尺にも餘る層岩の絶頂には幾百年か年所を經たらしい黒色の深い年輪を浮かべた矮小な老松が數限りもなく生ひ茂つて居る見上ぐれば今にも落ちこちさうな大岩小岩は累々として老松の間に介在して身の毛の浮ぶ心持ちがする。流れは飽くまで

紺碧色に澄み

澄つて澄徹な水底には奇巖が巍峨として聳え立つてゐる下流に當つて大きな淺瀨があると見れて江水は殆ど流れず三人の舟夫はエイ、ヤ、エイヤと掛聲勇ましく棹を押し立てて下つて行く葛田里の村まで來ると左岸は一面の平沙となり右岸は更に高く聳えた絶壁で高い高い巖の頂きの松の上に一羽の鳥らしいものが止まつてをる。葛田里は人家三四十の一寒村標高九百九十八米突あるといはれる葛田峰の

峻嶺を背にし

た山中の小村であるが同じ山の住ひなら斯く山高く水清き處に住むでをるものは長生きすることであらう。半里もありさうな長くて荒い淺瀬を流れて平穏に歸り掛かると右岸の巖上には今し風雅な亭の築造中で其の風流人の姓氏を逸したことは呉々も遺憾であつた。支那側は此の地を望江流(或は望江樓か)と呼び朝鮮人は鴨綠江の赤壁と呼んでをる。流下すること二里餘楸下仇俳を迂回し上董洞に來ると左岸に當つて小山の如き大きな巖が

水中に削立し

てをる筏夫や船夫は此の形が軍艦に似てをる所から軍艦岩と稱してをるが鴨綠江中には軍艦岩と稱するのが數多く第一軍艦岩、第二軍艦岩と呼び第四第五までもあるさうである午後七時島背穗の大高原を背にした梨坪に船を著けて沙原に上陸すると此の地には意外にも憲兵駐在所があり伍長一名、上等兵二三の人が守備してをる一番

江流に近い家

に宿ると京城にも數あるまいと思はれる程國語の上手な男が居ていろいろ世話して呉れた。此の邊の住民は大概四道溝や五道溝から木材を流して生活するか或は後方半里の鳥首穗の高原に墾ぢ農耕して生計を立てるのであるさうな。

古式に則る 開館式

三段構へは 栃木山と鳳

新しく再建された兩國國技館の開館式は來る十五日午後一時より同館内に於て擧行される筈であるが式の次第は左の通り決定した

一、大皷、方屋祭り(司吉田追風ワキ行司木村庄之助、同式守伊之助)
二、開館式辭
三、來賓式辭
四、三段構へ(栃木山、鳳)
五、神相撲(對馬洋、千葉ケ崎)
六、御前かゝり方屋入り(横綱以下十兩以上)
七、式相撲取組(十兩以上横綱以下十數番)
八、東京大相撲協會代表者挨拶

右終了後三階以上に模擬店を開く筈であるが入口及び同館前には縁門を造り、又花道には菊花を飾つた青竹を設へる筈で此の菊は式相撲に勝名乘りを上げたるものに與へるのである

悲しき思ひ出の 古戰場を弔ひつ

感慨無量の俘虜四百 五年振に青島に上陸

青島戰の俘虜四百名は愈々本國に送還さるべく其途中二日夕方青島に入港三日上陸せり今回送還の俘虜中には愛せる妻子を此地に殘せる者少からず

大棧橋に

待兼たる妻子は馳せ寄りて互に相抱きて感激の餘り語を發し得ざる幼兒や婦人もありて種々の悲喜劇を描き出だし三々伍々手を連ねて市中見物を爲し其の中にはモルトケ、イルチス、ビスマルクの三砲臺附近を強者共の夢の跡感慨に堪へざる

面持にて

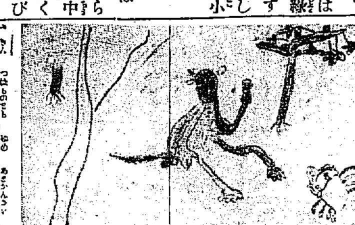
俳徊去り難きものあり第一線小湛山、浜岸砲臺の遺は既に當時の面影なく會戰當時は僅に煉瓦工場のみにて一面荒寥たりし稅關附近一帶の地が今や邦人によりて堂々たる市街となれるを驚きの眼にて眺むるあり收監の大建築物總督官

昔日に異

らざるを名殘なく見廻り直に自己の店舗に入り久方振に妻子卓子を圍みて互に五年間の苦しみ悲しみを語り盡きぬ思ひを滯在四日の間に留めつ、香港に向へり(青島)

小學生の自由畫

第一　宮崎ハヤ子



名寶玉

附の名玉寶石類が如時の間にか外國に持ち込まれたと見る[illegible]は故獨逸皇帝の[illegible]

露國皇帝の王冠を飾[illegible]の寶石類も[illegible]

全鮮歌留多大會

期日　一月中旬、會場南山町梅の家

會費、規程其他詳細は追て發表す

主催　京城日報社

氣候の內地化と云ふ事

少は非科學的な 素人考へだ

大雪が降る、大暴風雨がある、三寒四温が亂れて氣候も逐次に內地化しつゝあると云ふ世間の噂に對して高島京城測候所長は語る『大自然に偉大なものである決して然う無暗に變化するものではない、朝鮮が暖かくなつたとか內地化したとか云ふ事は非學術的なものである、例へば

素人は

朝鮮には大暴風雨や大雪が降らないのに近頃は內地の樣に屢あると云ふが之は大自然の週期と云ふ事を知らない人の言葉である世界無比の稱ある李朝百四十年間の降雨

調査表

によると朝鮮にも大洪水があつたり大雨が降つた年もあるのである、即ち氣象上の諸變化が週期によつて或は多くなつたり少くなつたりするものである、よく人は自分の感じで大自然を誤つて判斷するが之は自然現象は萬古の大法則に則り正しい週期の循環の裡にあると云ふ事を忘れた苦果でせう

緩衝機 (投書歡迎)

巡査生活　新米生

私は支那勤務の一巡査である。漸く小學校の課程を終へたばかり四五年間を無爲に暮らして居た身が巡査採用試驗に及第したばかりに月額六十餘圓の給與を受け制服制帽は勿論靴から防寒襯衣まで支給され人民から相當敬意を拂はれ多少なりとも國家に奉公の誠を盡し得るのは私は望外の幸福であるさ

申歳生れの 坊ちやん孃ちやん(下)

釋尾弘邦君

釋尾春芿氏令息

釋尾弘邦君(二)は朝鮮滿洲社長釋尾春芿氏の長男で南大門小學校の六年生、今は中學へ入學前なので其準備に熱中して居ます、お父さんに似て背の高い方、活潑で勉强好きです、學校の成績は常に優等ださうです、得意は綴り方理科、讀み方の三科目、『何がお好きです』と問へば『西洋料理』と淡泊に答へる無邪氣さ、將來の希望は『世界的の實業家になるんです』と愛らしい瞳は希望の光りに輝く。

新家庭

贈答品の容器代價

贈答品の容器ほど無駄なものはありません處が近來は贈答品の體裁を作る爲に容器を立派にして其實質を減ずる風習があります、物價騰貴の昨今贈答品の廢止運動のある時にせめては容器の無駄な費用を改めたいものです、容器代價の二三例を示せば

▲砂糖二斤入、杉折箱五十六錢▲同紙器十錢▲果物籠代七十五錢へ葡萄酒及洋酒二合壜入容器皿に化粧代一圓五十錢▲菓子折(三圓内外の菓子)一圓五十錢より一圓八十錢▲呉服及雜貨類箱代(五圓内外のもの)一圓五十錢より二圓まで

但し海苔及茶等には高價でも容器は鑵を使用せねばなりません

酒の五日の 忘れ物

頭を落した人さへある

新年の遺失物に就て本町署に聞けば一日から七日迄同署の取扱つた遺失物は二十六件就中財布蟇口がその主なる物で此外肩掛け襟卷きカンザシ類等その外山高帽は未だに受取人が無く同署保管にブラ下つて居る錢目のものは四日の百二十圓入財布位であるがそれでも二十六件を通じて二百二十圓に達するさうで内返還した物品及び金員でも百八十五圓に及んださうである

萬引

府內安國洞六十三番地土地仲介業張善玉(六〇)は十二月廿九日午後七時頃本町三ノ九八岡野重太郎方に顧客を装ひて入込み店先をブラブラ見廻る中店員の隙に乘じ黑皮製財布を竊取逃走せんとしたるも店員に發見され直に本町署に引渡されたり

二人會

京城券花柳の小千代(二二)が入口の廻覽に惡氣揚々と陣上り發かゝるとパッタリ出會した……に反りかへつて旭町一丁目にのはかれぐ勝負になる壽酒會社の立ち止まつて『何處へ行くの』ときかれて『わし一三軒廻つて夫れから此方のお宅へお見舞に行かうと思つて……』新年早々縁起でもないお見舞とは何かと問ふと『アヽ仕度しませう……お芽出度うと御逢つたのよ』は稚初かし過ぎる。新券富美道家の光弟、次郎は員の姉妹だが兩妓水入らずに南山町一丁目に一軒やた樣を持つて仲よく暮いて居るのは誰者の知る通り而して標札には『勝野ぬい』と記してある、これだけでは何の變哲もないが愛嬌者の次郎へ阿惚れ筋から寄す手紙には大概『勝野ぬい樣方次郎さま』と書いてあるから可笑しい、勝野ぬいは姉の光弟のでなく次郎の本名、次郎さん內の次郎さんは振つてる

演藝案內

櫻井町　大正館　電話八七三
日ド活動寫眞會社代理店
◯當る七日より新春第二次特別大興行
◯實寫『高城製鳥の實況』長尺
◯ニコニコ劇『間抜け男』長尺
◯ニコニコ劇『新調の屏風』長尺
◯米國エディソン會社傑作
人情劇『緣の木』全三千呎　原名 損せし樹木

本町二丁目　壽館　電一〇五〇
又た出た！天下の珍品
◎日本一の大目玉尾上松之助と中村扇太郎の兩優が變る姿の彌次喜多滑稽江戸生粹のキビキビした新內劇
▲紋當、彌次喜多
◎東海道膝栗毛　全八卷
△化猫退治の大手柄△生き地獄の底に△荷物たる狸△八郎を下に置は毎月一日十五日日曜祭日晝夜開館

來る一月より特別大興行
▼女流浪界五秀妹　蜀田千代子
▼御馴染の新派の實務　京山水月
關西の大立物二座大合同にて花々敷開演仕候初日開演陸續御光來新上々候

本町一丁目　喜樂館　電話九七番
◯當館月七日より引續き特別大興行
先週迎へ滿員御禮の爲特に普通料金
▲滑稽『歩路のキチ』
▲喜劇『思慮な家具』
◎實寫　戰時の海と空　全三千呎
軍事教育の資料英國海軍省撮影戰線に於ける緊張せる英國海軍の一般の勇敢及び獨逸飛行機英艦との實戰
◎米國ラスキー會社特別作品
人情劇　眞夜中　全五卷
『ジエームス』は犯した罪の報ひたさに諦めやうとしました、純育の一夜から魔の手から逃れた少女『フィーデル』が鍵穴から見た一事件が永遠の幸福をなさうとは誰れが思ひもかけよう新の劇理は偉大なる感謝す
◎日活京都派新特作品封切松之助出演
侠勇仇討　佐野鹿十郎　全六卷

名寶空しからず
初日共二日目　七時既に滿員御禮
大評判の大喜劇
彌次喜多
前回よりのつゞき
六時開演　大正館

京城旭町一丁目　浪花館　電話二六〇
當る一月元旦より(正午後六時開場)
東京大合同落語大演藝會
落語御祝儀　笑福亭
落語音曲　三遊亭
落語ステヽコ　竹枝
落語舞扇　家
落語音曲　三遊亭我
落語手品踊　花三
落語曲藝　萬
落語獨樂　東
人情話　天下一品
大切餘興

黄金町　黄金館　電話二六二七
天然色活動寫眞株式會社特約代理店
來る七日より新春第二次特別大興行
◯『ジッビーの娘』
米國カレー會社作
◯宗教劇『聖母の女優』
新派大悲劇『春の光』　全五卷
大井一派の新年と小土谷の家庭を舞臺として子爵笠原のアンビリン會社作
▲大活劇　空中水雷　全三卷
クロフォド少佐は空中水雷を發明したが敵國の軍事探偵は其作製圖を盗まんとして大活劇に及ぶ
大活東京派新規大作
▲喜劇　荒浪五郎　全四卷
岸村四郎五郎中川延十郎一派出演に鍋島公の御分家大原村の百姓一揆よりの惡代官お夫婦を殺して萬民を助けるまで

▲訂正　去る八日朝刊第二面下段藥業株式會社決算報告中末尾に大塚宗太郎とあるは大塚宗一の誤植に付訂正尚相談役賀川治の七字脫漏に付追加す

冷え込みに中將湯

いくら着ても着物では温まらぬ

婦人病血の道の最高學理藥

女の腰は火にいけよ

俗に女の腰は火にいけよと申します人に依りましては冷性の人さうでない人とがありますが、冷性のひどいのになると土用中でも毛糸の腰巻を附る程で、さう云ふ人は勿論の事それ程酷くなくても、何んとなく足腰が冷え血の氣が薄いやうな人、又は腰の反對に顔ばかりが頬さ逆上るやうな人、かう云ふ方は確かに子宮に異常がある方と申しても十中の八九は當ります。たとへ異常がなくても斯う云ふ方には婦人病藥として最も進歩した中將湯を二三貼服用してご覧下さい。

手足腰の冷込みに無暗と衣服を着込んだり腰にいろいろの物を卷つけた處で、これは何の效果もなく、而も此の樣な姑息な事を致して居ります內に、若し子宮に異常がある人ですれば、だんだん病勢が進んで來て、遂には本物の婦人病になつて終ひます。冷え込みは血が貧いとか營養の加減とか又は貝今申しました子宮の病氣とかで原因ですから、いくら身體の外から温めた處で治るものではありません、是れはごうしても體の內部から根本的に治して行かなければならなくて、中將湯は體內を温め氣力を增し血液の循環をよく致し、今迄冷込み子宮病の爲めに何事も引込み思案になりかかつて居た人でも、身體が樂々と成つて、見違へるやうな活氣ある婦人となる事が出來、自分ながら恰で不思

議な位るな喜こびに再會致します。

☆　☆　☆

ことには時候柄單に冷え込みの事を主に申しましたが、なぜ中將湯が婦人の冷え込みを治すかと申しますと、それは根本的に子宮病血の道を治すからで、子宮內膜炎の分泌物の爲めに不姙性となり其のまゝでは幾ら經つても子供の生れる喜びを見る事の出來ない人が服めば、其分泌物の中の子供の生れる精虫を害する●●●をスッカリ除去き、こしけを全く治し、月經の不順で苦痛な人を順調にして、誠に温かい婦人本來の立派な健康體と致します同時に血の道ヒステリーで殆んど時々狂氣地味た樂働をなさる方でもスッカリ鎭め始めて幸福な生活に入る事が出來ます。又產前は病氣に罹り易く殊に子宮に障害を起し易いものですから、毎月一二週づゝ服用すれば、體兒の發育の憂ひがなく、母子共に壯健の胎毒を除去、出產後は血の暈ぎ易いものですから中將湯を服用して血を鎭め元氣を起し肥立ちを早める事は、產科婦人科の病院なぞでも是を使つて居るのでも分ります。

東京を始め全國に普き中將湯浴場

あたゝまると云ふ代名詞に成た中將湯の三字

產科婦人科の病院で子宮病や產前產後の患者に中將湯を服ませる事は既に御承知の通りで、世界到る處……否却て歐米各國の醫學大家が熱心に和漢藥の研究を致し悉く其偉效を推賞し、統計に示して學說を發表して居る位です。されば此中將湯の名稱はいろいろ應用されて、東京は勿論地方各地に於ては「中將湯浴場」と云ふのが到る處に開かれて居る樣になりました。中將湯浴場とは即ちよくあたゝまる湯と云ふ事になるので、此名のお湯はドコも浴客で一杯です。

效藥
●子宮病 ●血の道 ●婦人諸病 ●產後
●內臓炎 ●月經腹痛 ●白帶赤帶 ●血ぶさり
●こしけ ●下腹痛み ●腰先冷込 ●つわり
●氣ふさぎ ●腎商ぶり ●夜眠れず ●產前產後
●背肩こり ●逆上頭痛 ●冷え性 ●月經不順

價定

金一圓	一日分
金貳圓	二日分
金參圓	六日分
金五圓	拾日分
金拾圓	廿三日分
金四拾錢	廿五日分
金貳拾錢	七十五日分

東京市日本橋區通四丁目　津村順天堂　振替東京六〇八、電話本局三六三

大阪市大寶寺町堺筋　津村順天堂　振替大阪四五六、電話南二五〇番

瓦斯管
洋鐵鋼材料
バルブ工具品類
鑛山用品
一般工業用品
商報一與次第送呈
カナエバッキング會社代理
京城南大門通二丁目
合資會社　南方商店
電話長一六八九、七五五
振替一九三

にせ物ありさこう　沢山出來る家ド

請合藥
りん病ばい毒
東京日本橋大阪心斎橋
◉淋病新生藥は淋病劑として梅毒新生藥は驅梅內服藥として醫學上最有効と確定し岳藥は醫科大學帝國大學院等にて實驗配劑せる高貴藥たるを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は
分析料　百圓呈上

にせ物あり　有田製藥を取れ
◉あらゆる治療をすむ効あるき患者は先に角一度來談あれ

有田ドラッグ滿鮮本部　京城南大門外停車場通(長電話四六、本局二三六番)

有田ドラッグ　京城黃金町三丁目電車通(長電話二八三番)

龍山練兵場前
釜山大廳町二丁目
元山本町三丁目
平壤道廳正門斜向
仁川宮町二丁目
大邱弓町停車場前
鎭南浦警察署前
開城南本町二八九
晉州大安洞榮町
大連岩代町

全國の都市に支店あり

有田ドラッグ　東京日本橋通四　大阪心斎橋筋本町

盛にするとにせが出來るヨ

尼崎汽船出帆
◯仁川大阪行
赤城丸　一月　八日午後四時
一心丸　一月　日午後四時
神代丸　一月　日午後四時
秀吉丸　一月　日午後四時
君が代丸　一月　日午後四時
大有丸　一月　日午後四時
◯印船客御斷
仁川海岸通二丁目　高杉回漕部

大阪商船出帆
仁川出帆
▲浦大阪行　木安東丸　一月　日後四時
△信の川丸　一月　日後四時
△大進丸　一月　日後四時
▲神行　安丸　一月　日後九時
△平丸　一月　日後十二時
▲上海、芝罘、打狗行　湖北丸　一月　日
基隆丸　一月　日
南洲行　毎月一回
御注意　格安運賃　大阪商船株式會社

釜山港出帆廣告
元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
門司、宇品、神戸行

朝鮮郵船出帆
▲沙行　立神丸　一月十一日元山
▲鎭南浦行　平安丸
雄基丸
忠淸丸
鏡城丸
▲元山雄基線
▲大阪行　京畿丸
平壤丸
▲濟州島行
江原丸
▲宗偉丸
大連行
其他各寄港地ニ寄客取扱店
本社　京城南大門通

馬賊頭目の氣焰（2）

支那人王春山と名乘つたは 實は日本人で本名原柳太郎

生粹の江戸つ子で成金の息子 中學程度以上の學歷もあるのだが……

サテ馬賊の生活とは？ 左の腿に貫通銃瘡の生疵

二人の間に鸚鵡盃が取交された。王君は大きなそして稍鋭い光りを持つた眼を輝かせ乍ら女のやうな愛嬌を持つた唇から、頻りに煙草の煙を吐いた。

『全く支那人としか見ゐませんね。然しそれにしてはあんまり、日本語が巧過ぎるから、ごうも變だとは思ひましたがね』

私は始めて馴々しく王君に話しかけた。

『さうですか。イヤ私が支那服を著ると誰だつて支那人にして了ひますよ。第一

顔が支那人

に出來てるつてんだから堪ちやありませんからね。之でも自分では立派な日本人面だと思つてゐますが、矢つ張り支那に居ると支那人化するんですね』と王君はサッパリと言つて微笑を含んで見せ自分の本姓は原柳太郎だがまア〳〵王と呼んで下さいと附け足した

『王君は女にして欲しいやうな男だね。そんな優しい顔をして居て部下百名を率る馬賊の頭目とは受取れない。顔の肌めが濃まかくつて、色の白いところなんざアまだ〳〵

美少年と云ひたい位だ』

A氏は斯う云つて大きく笑つた

『さうですか、イヤ二三日前に湯に入つたもんだから……。平常は朝起ても歯も磨かず、洗面もしないで眼だけ擦つて置くんですがね。今度は內地に歸る途中だから一遍位は身體も洗つて置かなくつてはね』

王君は斯う云つて相變らず無闇に煙草を吹かし、炬燵の掛布團を灰だらけにし乍ら

『どうも此通左の腿に

貫通銃瘡を

受けたもんですから不自由でね。それかと云つて醫者に見せるわけにも行かず困りますね。御尋ね者は斯う云ふ場合に包帶の交換へ位はやつて居ますが、消毒が殆ご出來ないから幾分面倒ですね。然し妙なもので人間も我々位野生的に生活すると、大概の傷や病氣は放つたらかしといても自然に癒りますよ。つまり犬猫と大した變りはありませんね。僕だつて東京で生れ

學歷も中學以上に出て居るし成金の息子として相當贅澤な遊びもした經驗がありますから初は馬賊生活も隨分辛かつたんですがね。馴るれば氣樂なものですよ』王君の話しはボツボツと彼自身の生活に觸れて來た。彼は平常ならば一升やそこらの酒は雖なく平ぐるのだが傷が痛むからごいつて、さほご盃を擧げなかつた。そして首のところから胸のあたりに右の手を突き込んで

一口の短刀

を取り出し無雜作に鞘を拂つたかご思ふご血糊に染まつたまゝの中身が炬燵の上に投げ出された。

『此の短刀はつい此間役に立つたのです。之には支那巡警二人の血が附いて居るわけです。然し此の短刀には一寸した艶つぽいローマンスが無いでもありません。何は兎もあれ私が

馬賊どして

の經歷を大掴みにお話致しませう。然し之はほんの梗概だけですよ。若し自分で憶ひ出の記でも書いたら素晴らしい長編が出來ようと思ひますがね。が然し日記をつけてあるわけではなし唯大ざつぱな記憶ですから面白くないかも知れませんよ。サア……』

私は炬燵を挾んで彼と向ひ合つた。そして未だ二十六七と見ゆる美男子の口からごんな話が漏れるかと注意した。

王世子殿下 御結婚期日

二月廿九日と決定？

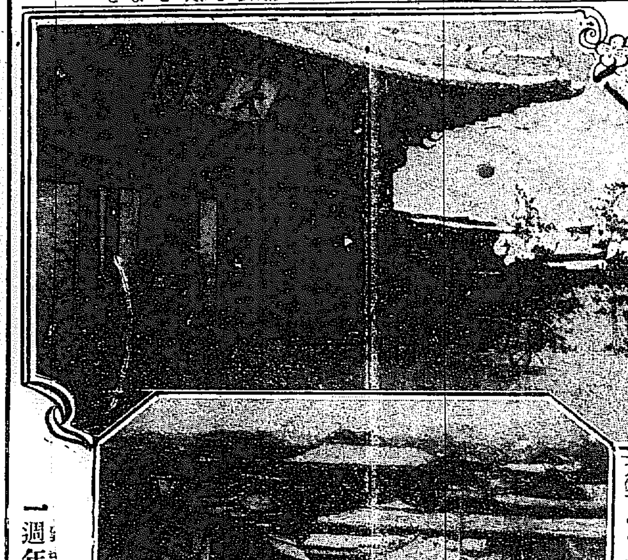
御式場は鳥居坂御用邸

王世子殿下の御婚儀は二月二十九日鳥居坂なる王世子邸に於て擧行せらるゝ事に決定せりと傳へらる（東京特電）

御歸鮮御見合せ 惡性感冒流行の爲

王殿下の思召にて

王世子殿下には來る二十二日御擧行あらせらるべき故李太王殿下の御一年祭に御參列の爲め近日御歸鮮相成るべき御豫定の處目下當地方は惡性感冒流行の際なるを以て特に李王殿下の思召に依り御歸鮮御見合せに相成りたり



一週年祭近き德壽宮 下は宮內の全景

魚市場も府で經營

條件附の市場認可 之は其前提？

京城日の丸水產株式會社は昨年十二月三十一日を以て營業期限が滿了するので同社長山口太兵衛氏から其筋に期限延期方出願中の所今回今年十二月三十一日迄一箇年間の延期を許可する旨指令を發せられたが併し期限中と雖も京城府の公設市場で若し同樣の營業を開始するに至りたる時は何時にても許可の效力を失するものであると云ふ條件付であるさうな。又支那頭取[illegible]の京城魚市場でも昨年限りで營業期限が滿了したので營業者守永喜三郎、守永安三郎、守永和三郎の三名から五箇年間の延期出願中の處是亦同樣の條件付で今年一パイだけ許可された相だ

外人とても遠慮せぬ

惡い者はドシ〳〵罰する 但し之から一層親密にして 相互理解する事に努める

過般東京で某外人宣教師が水野政務總監に對し我々は飽迄朝鮮統治の小姑として監視を怠らぬと傲語した相であるが從來我官憲の對外人態度は稍

微温的たるの觀があつた、某警務當局は語る『從來外人に對する我官憲の態度は聊か特別扱ひの傾きがあつたので從つて鮮人は外國人を徒らに崇拜するの弊も生じ更に騷擾の黑幕にも外國人の色彩が濃い結果にもなつたのである。だから今度は在鮮外人を

內地人同樣にする、從つて我々は之から一層親密にし且つ屢々接觸し充分相互に理解し合ふのが第一であると思ふので本年も年賀の意味で各國領事其他の外人を訪問して意見を交換した、が外人達も喜んで迎へて呉れた。殊に佛國領事ガロー氏の如きは其

令夫人が下へも置かぬように待遇して呉れた。將來も努めて接觸し相互理解に努める方針である。騷擾當時、外人達は盛んに騷擾の光景を撮影し其つて廣く世界に紹介したが我が官憲には當時の寫眞一枚もないのであつた。そこで過般京畿道第三部に

寫眞班を新設し何か事件のある毎に撮影せしめてゐるが外人達はレンズの中へでも入つたら大變だと內々警戒してゐるとか兎も角相互に理解した上で惡い者はドシ〳〵處罰し外國人だからと云つて毫末も遠慮しない筈である』

總督夫人の新年宴

招待を受けた婦人四十餘名

齋藤總督夫人春子の方は九日正午南山官邸に於て新年の午餐會を催し國分總務局長夫人始め各局長、李王職長官、韓贊侍國分次官等各夫人其他貴婦人四十餘名を招待し鄭重なる饗應あり和氣洋々の裡に新年を祝し同二時半退散したり

公會堂の落成式

來る六月頃

商業會議所にては新築公會堂へ來る十二日を期し愈々移轉の筈なるが未だ床張等も出來ず未完成の部多きを以て今回は單に移轉披露等も行はざる由にて落成式は來る六月頃の豫定なりと因に事務室としては階下左側の數室を使用の筈なり

朝鮮僧侶の兵營見學

驚異の眼を見張る

朝鮮全道三十本山の有志僧侶は九日午後二時より龍山步兵第七十九聯隊に至り富塚聯隊長の案內にて兵營其他を見學し其秩序整然たるに驚嘆の眼を見張り、營庭に於ける銃劍術、機關銃射擊、中隊教練等を見て其元氣旺盛にして軍紀の嚴肅なるを歎賞し午後四時聯隊長の好意を感謝し營門を辭したり

力瘤の入つた稽古相撲

…たが千葉ヶ崎が出るこ矢筈山を吊りに來る處を打乘つ出して砂に埋め續いて現はれた…先づ破り白岩にも砂を付けたが大潮が出るに及むで脆くも負を取つた、大潮は清瀨川に負て了た後其の勢ひで紅葉川に勝つたと見た處が『千葉關一丁だ』と決まつて千葉がホッと一息したと…かけに浴びせ倒されて橫綱が惜しき敗を取つた處から『モウ一丁勝負だ』と取り合せたがドゝと…は了つた

警備機關の大擴張

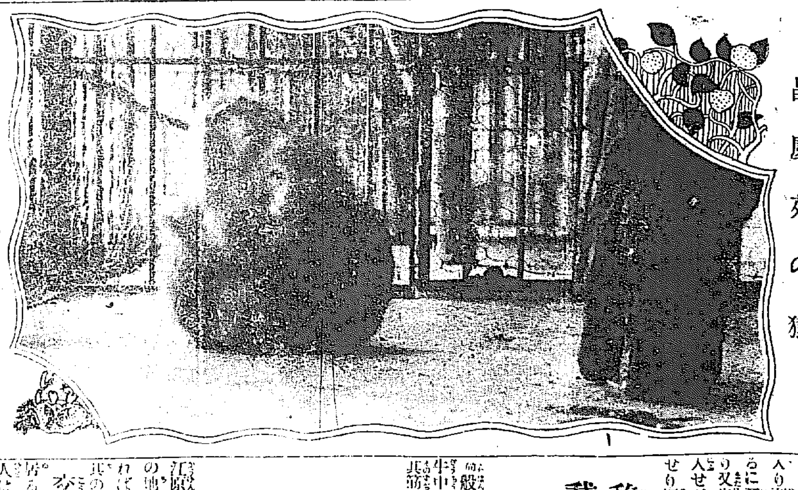
一面に一駐在所 三月迄に完成

水野政務總監が東上して屢々陳述した結果先づ朝鮮の追加豫算も認められ來年度の警務擴張費も議會に提出される事になつたので取敢ず第二次の警務機關擴張が過般實現された、之に就て千葉京畿道三部長は語る『過般第一次の警務機關擴張で收敢ず二次の警務機關擴張が實現され朝鮮全道で

約三千の巡查が增員されたが朝鮮全道で二千五百八面あり其內全く駐在所のない面が八百三十九面もあつたが今度は一面一駐在所制に改めたので如何なる面にも尠くも一駐在所以上を設ける筈である京畿道に就いて云へば先づ京城府內に

二箇所の警察署を新設する即ち東大門西大門の二方面で警察署長を置き尨大な現在の警察署管轄を整理する筈である次が騎馬巡查を十名增員して十八名の巡查騎馬隊を編成する東京警視廳騎馬隊でも三十騎であるから愈々然うなれば京城は日本全國で第二のものとなる之に要する馬は軍馬を拂下附されたので非常な威力を加へると思ふ、更に市內に十箇所派出所を增設する鍾路署四、本町署四、龍山署二の割合である此に

自動車など一臺宛各道に備へ付け外に警官の待遇を改善して充分警察の威力を示すべく大刷新大活動を實行する筈で何しろ急な企畫なのであるが既に豫算だけは約六千圓に出來たので早くも三月迄には以上の總ての完成を期する筈である』



昌慶苑の猿

連通制の片割

羅南の陰謀事件則報

咸北第三部にては舊冬來各方面に亘り活動中の處不逞鮮人四十餘名を檢擧せり中には郡參事、郡書記、面長等あり本件の發端は去る歲總督府警務局に於て公表せられたる例の連通制の片割れにして既に他の方面に於ては連通者の檢擧を終れるものにして咸北第三部の探査に依り居住尹亭善は十三道總監部參謀の肩書あり咸北第三部の嘱託に依り去る二日京畿道第三部に於て取押へ咸北に向け押送せらる

社會主義者中に小學校教員

全國青年を煽動して社會改造を行はんとする計畫 濱松署と憲兵隊の大活動

靜岡縣濱名郡に來た端書から發覺

全國各地の青年を煽動して社會改造を行はんとする某々氏は昨年來東京方面にて密議を凝らし東京、京都、名古屋、仙臺、靜岡の各地に連絡を通じ密に不穩を極めたる文句を記せし私製葉書を各地に撒布したる模樣あり此の葉書の一枚が靜岡縣濱名郡芳川村大川某に配達されたるを濱松署及び濱松憲兵分隊にて探知し六日より大活動を開始したるが東京憲兵隊本部よりも七日夜該事件に關して濱松憲兵隊に飛電あり事件は秘密に取調中なるが是が關係者中には小學校教員もあるもの、如く其筋にては調査の步を進め居れり（靜岡電報）

セーヌ河大氾濫

巴里市危險

セーヌ河は二日夜來氾濫し形勢刻々危險となり同市外の工場は閉鎖せり（巴里電報）

內地も流感猖獗

二師團管內最も甚だし

仙臺第二師團管內の流行性感冒猖獗を極め本年に至りては五日間に千五百名の死亡者を出せり其他東京大阪神戶廣島北九州下關等何れも猖獗を極め火葬場の不足を感ずるに至れり（下關特電）

各地の流感

依然死亡率多し

龍山 數日前四十餘名の患者を出したる龍山騎砲兵隊の流行性感冒は其後豫防の努力現はれ十日は新患者僅かに七名より出ず而も何れも輕症なり又步騎の各隊は全く終熄したるものの如く本月に入りて以來新患者一名もなし龍山市中は猖獗の跡あるも新患を減じつゝあり八日の死亡者は內地人四名鮮人六名なり

平壤 一時猖獗を極めたる平壤步兵第七十七聯隊の流行性感冒は漸次減少し今や全く新患なく終熄の曙光を認むるに至れるも市中は依然猖獗を極め死亡者續出しつゝあり（平壤特電）

移入鮮牛に鵞口瘡

嚴原で檢疫 係官急行す

最般木浦より下關に移入せる鮮牛中疑似鵞口瘡を發見したれば其筋にては目下該牛を隔離し檢查中（下關特電）

大邱 大邱の流感は本月に入り漸次蔓延し死亡者を續出するに至り學校は何れも閉鎖中なり又步兵第八十聯隊には未だ侵入せざるも八日一名の新患を出せり極力防疫に腐心中（大邱特電）

…因中にて是れが爲め南鮮より下關に移入する鮮牛は嚴原に於て檢疫を執行することゝなり客臘末より今日迄に約一千頭嚴原に陸揚げせられ嚴原署にては俄かに斯く多數の鮮牛陸揚げせられたるを以て牛舍の拂底を告げ居れり又長崎港務部よりは港務官目下檢疫の爲め同地に急行せり因に鵞口瘡の病原は京城以北にあるものゝ如しと雖も右に就き下關防疫官は曰く下關に發生せる鮮牛は目下檢病中なれば判然せざるも病癥より察するに眞正には非ざるもの如く思はる

雪攻めの春川

自動車も馬車も通はず 十餘日間籠城のかたち

一般商家は殆ご休業同樣 天下の公道が聞いて呆れる

江原道春川と云へば非常な遠隔の地の樣に聞こゆるが里程にすれば京城から僅に二十四里の地、其の新道路の一面街が雪の爲に

交通杜絕の憂目を見て居ると云ふたら恐らく信を措く人は少くなからうが客月の降雪以來春川は今日に至る迄十餘日自動車も通はず馬車も通はず孤立無援の籠城同樣で、京城との通信は只僅に劍氣な

郵便脚夫に依て運ばれる通常郵便の一方法あるのみに至つては文明の今日餘りに愍然至極である。其唯一の通常郵便さへも人夫の脚力のみを便りであるから二日に一回三日に一回と云ふ哀れな有樣、小包等も無論運搬出來ず

の細は兎も角車馬を通ずるに足る除雪が行はれて居る夫れに引替へ京畿道側の

楊州郡は依然舊態の儘の積雪を存じて居るのは奈何なる理由か、何人の怠慢に依つて斯くの如き結果を來したか、各道廳間の連絡を缺いて居る爲めか夫れとも他に理由があるか何れにしても天下の公道が十餘日間雪に埋れて交通杜絕の

醜體を現出して居る儘は餘りに沒常識であると雪中を強行來城の某氏は語つて居たが公用自動車商會は九日押して積雪を突破し京春間連絡を恢する由である。

汽車便の無い土地だけ

に一般商家の受ける打擊は非常なもので殆ご休業同然の狀態だが之は京城春川間國道の除雪が出來ぬ爲に基因するは云ふ迄もない然し江原道側は稍雪二尺以上に及んだに係はらず如平迄…

久原炭坑爆發す

十五名行方不明となる

筑前久原炭坑は八日瓦斯爆發し十五名行方不明にて五名は危難をまぬかる（下關特電）

郵便物は一兩日の中

常態に復する

越年の繁忙と交通機關障害の爲めに一寸の郵便物を極め兎角停滯を免れざりし京城局通常郵便物は若々整理せられ小包の如き昨今にては元日引受分を處理しつゝあれば兩者共常態に復するは茲一兩日のうちなるべしと

關釜連絡船

漸く出帆す

七日夜出帆すべき高麗丸は風波激しき爲見合せ居りしが八日午前六時半出帆せり又關門連絡船は七日午後七時以後運航を中止せり（下關特電）

松の內龍山の落し物

五百圓が筆頭 忘れ物は少い

例年松の內は落し物や忘れ物が多いが今年は流行性感冒やらで酒が滅法高くなつた爲めか龍山署に屆け出た遺失物は極めて少い元日は四十五錢在中の男持赤皮製財布が龍山驛前に落ちて居つたと元町二丁目裏通りに勳七の瑞寶章が落ちてゐた斗り三日には電氣會社前に黑の男用襟卷、四日は旅團司令部に郵便局の綻五日は電車終點に鍵六個附根付時計鎖六日は孝昌園內に画捲ひが落ちてゐた斗りで僅に六點しかない但し元日には黑田君が十圓紙幣で五百圓落失したが未だに拾得屆がない處から見ると猫婆を極め込んだ者があると見える

興味ある懸賞問題

東京大相撲勝負豫想

東京大相撲春場所は十二日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

大錦（鳳	三杉磯（紅葉川
千葉崎（常の花	源氏山（福柳
清瀨川（大潮	大戶平（琴ケ浦
九州山（對馬洋	大門岩（兩國
阿久津川（東雲	
御西山（綾川	

右十組の取組をはがきに認め勝力士の肩に○、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に依り右十組の中御合せなき時は夫れを除去して計算す▲締切は一月十二日最終便の日附印あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平通京城日報社角力懸賞係と明記する事（當選者多數の場合は抽籤にて定む）

賞品 ▲一等一人 銀側懷中時計一個▲二等二人 上等反物一反▲三等三人 上等置時計三個▲四等十五人 上等卷煙草一ボール宛▲五等三十人 錦袋一個宛

大膽な株式詐欺

仕組んだりな狂言 危かつた坂本商店

京城府南大門通り坂本商店元雇人高俊廷（二二）は自分が株式店の雇人にて相場に明かるき點より惡心を起し知人なる成潤永と共謀して大膽にも株式詐欺を目論見客臘十二月下旬篠崎半助、山本藤次郎兩氏の印章を僞造し朝日醸造株式會社株券

三百廿株に對し篠崎釘本名義の讓り渡し文書委任狀等十六通を僞造し高は洋服姿で山本某と名乘り內地人を裝ひ明治町高松商會に赴き右讓り渡し株式を三千圓に賣り付けんとしたるも果さず更に坂本商會に赴き同樣の手段にて金一千圓を詐取せんとしたるが高松商會は高の擧動不審なる點より篠崎商店に照會したる爲忽ち露顯し、篠崎商店の番頭は取る物も取敢ず坂本商會に驅せ付けたり一方高は巧に坂本商會を欺き然も

主人の前で電話で篠崎本兩家を呼び出し通話したるが如く裝ひ廿々欺き了らんとしたる時前記篠崎商店の番頭が驅せ付けたる爲め化の皮が現はれ直ちに本町署に逮捕取調べの上東京城地方法院檢事局に送られたるが十日午後同院大宮判事の手に公判開廷せらるべし

給仕採用

（身元保證人を要す）

京城日報社編輯局

講道館寒稽古

講道館朝鮮支部にては來る十八日より三週間毎日午後七時より寒稽古を行ふ由なるが鏡開きは來る十八日午後一時より盛大に擧行する由なり

鳥致院の火事

八日午前五時半京釜線鳥致院驛前なる逆遊店より出火し同店全部を焼き拂ひ六時十分鎮火せり類焼は田村木店、隣は明治旅館、內田商店、陸鐵商自動車部車庫其他店舖櫛比せる鳥致院目拔の場所なるも過般來の積雪と消防夫の活動により同店のみにて消止めたるは不幸中の幸なりし損害殆四千圓の見込み（鳥致院）

○本能寺の日曜說教 來る十一日を初皈に京城本町四丁目本能寺…所にては主として智識階級者の為に毎日曜午前中一定講演の說教に…

灯ともし頃

三多摩郷友會 在京城三多摩郷友會新年會は十一日午後六時より永樂町料亭作次郎氏方に開催する同郷の有志は奮つて參會せられ度し會費不要

年始狀の整理に取りかゝるごには捨難いものがある…

各地の金融

釜山（承前）

釜山に於ける年末商品の仕入及賣行の狀況は今年の如く經濟界の變態期に際し多かりしは實に稀有の現象にして物價は昨年よりも一層騰貴し前途の騰貴を重ねて未曾有の高値を維持し商工界は非常なる景氣を呈したりしこと一ヶ月に一、前途騰貴ありて極めて不安定の思惑を持續し來たりしこと及物價の騰貴より生ずる資金の自然增加の必要を生じたる爲め商品の仕入ち隨つて必要品を持ち製造元には殆ど手控へこなり又製造元に於ても前陳の理由及原料品の價格騰貴により優名に需品を除く外他は總て製造手控の狀態にあれば自然商品は拂底したるのみならず假令注文を發するも鐵道貨物の停滯せる爲め到着迄には相當の時日を要し個々入荷あるも品薄なるより製造元の遍く各所に按配すること貨物一個五十斤制限以下に却つて數量の減退を來たし一旦品切となるや容易に仕入れ難き事情あるより常に有名品に限り需要見込以上の注文を發し急を要す可き商品は高價なる運賃を支拂ふも客車便或は小包郵便或は船便を以て仕入れをなしつゝあり尤も大阪商船の定期及朝鮮郵船航路の開始により輸送上昨年の如く困難を感ずる事なく多少緩和せられたるの觀あり要するに歳末仕入狀況は大體に於て幾分手控の氣味あり加ふるに仕入地の品薄と輸送の迅速ならざるにより商品の賣行狀況は潤澤と云ひ難かるべし商品の賣行狀況は米價の騰貴並鑛の好況漁場の好景氣雜魚其他海産品の高値殊に銀の騰貴は勿論釜山及釜山鎭地に於ける建築工事の旺盛は内地の觀あり直接或は間接に常地の商況に好影響を及ぼし總體を通じて鮮商小賣商共に好景氣裡にあり之に加ふるに日本内地大都市に於ける殷盛なる奢侈的風潮は我朝鮮にも波及して呉服物に於て雜貨類に於て一般に高價なる贅澤品の賣行好況にして鮮人の如きも生活程度の向上に伴ひ頗る贅澤に赴き頗る高價なる物品を購入するもの多きを加ふ之れを歳末聯合大賣出しに見るも呉服、雜貨、履物の三組合より成る本年度に於ける福引券（十圓毎に一枚）五萬枚昨年末は（二圓毎に一枚）七萬枚を發行したるも今年は三圓毎に一枚總數六萬枚を發行せしが既に呉服商の如きは配分せられたる數にては不足を告げ各自個々に新規景品附となせるが如き今日の傾向より推察すれば十二月八日より始まりし二十四日に至る僅か廿四日間に賣上金額は多分二十萬圓を下らざるべし之れ物價騰貴による自然の結果なる可しと雖も斯く賣行の旺盛なるは確かに好景氣に因るものと斷ずるを得べし其他鮮魚の如き販路は益々擴張せられ日本内地は勿論北は滿洲遠く露國沿海州に延び非常なる好景氣にあり歳末に於ける釜山水産會社の水揚げは一日の水揚高八千圓乃至一萬三千圓に昇り十貫目の價格は六十圓餘四十圓雜魚平均は高價を示し本年は秋季鯖漁の不況及虎疫の影響甚大なるものあるに拘らず大正八年度の總水揚高は十二月廿日迄に累計二百六十八萬圓を算し廿一日迄には三百萬圓臺を突破す可き趨勢にして昨年度に比し前記の不漁及虎疫ありしに係らず約三十萬圓の激增を見るは未曾有の盛況なりと云ふべし

安東縣財信

[illegible]償却する件を附議する筈なるが株の内五萬六千株は舊株主に一株に對し新株券[illegible]事但し其の株數並に發行價格は役員に一任する事等なりと因に[illegible]

仁川年賀郵便 割合に尠ない

每年激增に激增を加へつゝある年賀郵便が今年は大した增加を示さなくなつた何れの家の吻にも今年は賀狀の來るのが尠いと云つて居るが之れは社會一般に年賀回禮の名刺が多くないと示して來るも見ゆるが又人間が虛禮を嫌ひして實質に就く傾向を餘程意識くなつたとも云へぬ事はない或は又本年は流行性感冒の結果一般に總てが控へ目である爲め寒の景況が左程でなかつたとも觀察したのも當らぬ事でもないらしい仁川から出した本年の年賀郵便は何通かと調べてみると實に四十五萬八千九百十二通でこれを昨年の四十四萬四千二百四十に比較すると一萬四千六百八十二通の增加となるが之は昨年よりも戸數人口の增加もあるから此の增加率は大なりと云へない增加の意味を爲して調はば先づ昨年と大差なしと云へより到着の方は三十二萬九千五百六十五通で昨年は二十七萬二千五百四十一通之れは五萬七千餘通の增加になるか到着よりも發送の方が遙かに多いといふのは商家の得意先挨拶が多くて先方の返禮を要せぬものがある爲めで普通の家庭では來ら必ず返すが常だから發送と到着は略似寄ものだと云へる之れを以て見る時に幾分社會は地味に傾いて徒らに派手を競はぬ模樣があると或る者は云つて居る兎に角本年の同鄕客の尠いのと年賀狀の增加がないのは事實であらう序でに附記するが此の冬に歳暮の贈答と見るべき小包みの數量は發送二萬四千個到着二萬二千個で可成の數ではあるが昨年に比る時は之れも激增とは云へないそうだ年賀狀の發送と人間の横着性が窺はれるのも面白い事實だが今年の年賀郵便は取扱ひ開始の十五日には僅に一千餘通それが二十一日迄は漸增で二十二日になつて初めて一躍一萬六千と云ふ數になり廿三日三萬、二十四日三萬三千、廿五日四萬九千、廿六日五萬三千と愈々近まつて廿八日に八萬四千と云ふ順序になる役人側の賞與金でも握つてみれば年賀狀を出す氣にもなれると聞く數字が示めして居るのも面白い事實であらう（仁川）

麻の名産地 慶北の安東

奈良縣奈良市中川政七氏は慶北安東郡安東に於ける麻布製織の巧妙なるを以て之れを利用し同地の麻布製織の閑散時に於て内地産原料大麻を同地に送致し委託製織せしめ製品は直ちに内地に送還すべき計畫の下に豫て其筋に出願中の處幸ひ去月廿七日附を以て認可指令ありたるを以て之が準備整ひ次第着手するとの事なるが愈々實現の曉は同地方の麻布製織工は殆ど年中閑散なく同業に從事すること〻なるを以て同地方の發展上一大幸福なりと（大邱）

めでたき豊漁 迎日灣の鰊

慶北迎日郡浦項灣に於る漁業の狀況は昨秋以來不良の狀態にありしが本年一月元旦以來引續き豊漁にして一日より五日迄の漁獲數量二千噸以上に達し頗る好況の有樣なり然るに搬出力充分ならざる爲め一日頃の取引相場一噸百七八十圓にて取引き行はれたるも其後相續き豊漁と共に鰊は益々停滯し昨今に於ては多少下落の狀態なり若し之に充分なる搬出力を與へんか同地は一層の好況を呈すべしと（大邱）

全南實業家大會 光州商工會の提案

既報の全南實業家大會（第三回）に對する各地よりの議案は目下着々蒐集されつゝあるが光州商工會より提出したる主なる議案は左の如し（光州）

（一）湖南線列車速力增進の件
（一）東亞煙草會社の製品普及に當業者に交渉の件
（一）鐵道貨物拔取防止の件
（一）棉花買賣自由放任の件
（一）南朝鮮鐵道の要線を羅州郡榮山浦に敷設の件

地下道開鑿 朝鮮初めての工事

大田驛構内地下道開鑿工事は朝鮮に於ける最初の目論見なるを以て當局にても慎重に審議中なりしが愈々本年度内に竣工する事に決定し昨年末より陳内組の手にて起工したるが之れが竣工は三月中の見込なりと（大田）

各地の消防出初

▼全州▲ 全州消防組の出初式は例年の如く四日午前九時より元憲兵隊構内に集合し松村組頭の三部長消防署長の機械器具及び被服の點檢を行ひ三部長の訓示あり後市中各所に於いて梯子乘等あり了りて二隊に於て慰勞宴を催したり

▼鳥致院▲ 鳥致院消防組合に於ては五日午前六時警鐘を合圖に集合し式後中橋下に於て放水をなし夫より宴會に移り消防夫一同の勞を犒ふと共に官民の主なるものを招待し午後四時散會せり

▼麗水▲ 四日午前十時より舊市場に出初の式を舉行し市中を廻り其より高瀬埋築地に集合し高瀬埋築地に一部二部に分ち一部東町勝利にて後消防演習後徒步競爭あり午後一時より鼠り三時より地方有志各消防手に酒肴ありて目出度解散したり

地税調定額（光州）

末日現在の全南八年度地稅第一期徵收額は調定額七十八萬二千三百十四圓に對し收入額七十八萬二千三百二十一圓を算し之を前年同期の收入步合九割九分七厘に對比せば尚二厘方多く殆ど完納に近き空前の良成績なり

◎改修工事再入札（大田） 大田郡新灘津乙灘の改修工事は昨年十二月二十二日競爭入札を施行したるも豫定超過の爲め愈々一月十三日再入札を施行する事に決定したるが今回は改修工區を五ツに分割して指名入札となし契約保證金を百分の五竣工期間を五月三十一日迄となしたり

◎裡里驛成績 客年十二月中に於ける裡里驛の取扱成績は貨車收入七百八十八圓九十六錢客車收入二萬二千四百十圓五十八錢雜收入百八十圓合計二萬三千三百七十九圓餘に達し前年同期の取扱ひに比すれば貨車收入二千百二十五圓を減じ客車收入一萬四千八百三十圓の激增を示せり乘車人員二萬五千六百十一人降車人員二萬六千百九十八人入場人員一千八百十八人小手荷物發送斤數五萬八千三百四十八斤到着六萬一千二百六十八斤貨物發送百六十八噸到着二百七十九噸なり

◎マーク懸賞募集（平壤） 平壤銀行にては今回同行のマークを懸賞募集すること〻なりたるが應募期限は本月三十日迄にして優秀者には謝禮を贈呈すべし

猛獸狩大會 守備隊並に本社支局主催にて 獐二頭

全州守備隊並に京城日報支局の主催に係る全北猛獸狩大會は已報の如く一月三四の兩日全北新里に於いて擧行したり三日は午前七時一般參加者守備隊前に集合し全北自動車商會より寄贈したる自動車に幹部連乘込み眞つ先に疾驅し自轉車隊之れに次ぎ一百の兵士は金子軍曹指揮の下に喇喨たる

行進喇叭を吹奏

して目的地に進發二時間の後には新里に到着し駐在所を本陣として夫々手配し水井中尉天野少尉は眞先に兵士を引率し新里より一里餘の地點に在る高地に驅け登り山を取卷き積雪深き中に銃手は部所に手分けをなして吾れこそ一の彈を放たんと待つ間程なく犢の如き獐出るは〳〵眼を眩ます計りなりしが折から

爆々たる銃聲は

彼方此方に起り手負になりたる獐數頭逃けつ隱れつして瞬く間に何れへか姿を晦まし遂に一頭の獲物もなく三日は雉と鳩數十羽を獲て引揚げたり明くれば四日今日こそはと一同腕に撚を掛けて又もや前日の如く

尺餘の雪を蹴て

狩り立てたるに漸くにして二頭を射止め凱歌を奏して午後二時頃進軍喇叭の音勇ましく引揚げ歸全したり明くれば五日豫定の如く全北公會堂に於いて猛獸狩り慰勞として守備隊兵士の餘興數番あり了つて守備隊内に於いて鐵開きを催し芽出度此の壯舉の幕を閉せり（全州）

群山通信

[illegible]レポンプ等を引出群山警察署前[illegible]合は例年の如く一月六日午後[illegible]べ開宴酒間は花月の美妓と組合[illegible]であつた其賣出中の景品抽籤が一月五日各商店一齊に行はれた[illegible]

仁川の歡迎會

[illegible]所主任職非女學校長牛[illegible]長岡野朝新支社長等の歡迎會を[illegible]後任として遞信局より入江留[illegible]

伊達騒動 第百九席

小金井芦洲講演

愈々安藝の召喚

此時に内膳正は膝進ませ 内『左樣と仰せられたは可否何れで御座るか相判らん、拙者は伊達安藝を呼び出して大老の御厚意を懇に申聞かせ無禮を諭し願書を差し戻し遣はす方宜敷からんと存ずるが御三方の御考へは……』三『左樣……』又左樣だ 内『御大老は如何な思召し……然し乍ら强て拙者が安藝を呼出し申て何か御迷惑御不都合な事でも御座りましては據ろ御座りませんが……』大『イヤ内膳殿……今日御勤め向きの事に付き迷惑抔と云ふことはござらぬ』内『然らば茲に仔細のあるべき道理もない御奉書御遣はしあつて然るべし

……御三方も斯の段御承諾之有るやう……』大老も事愛に至つては理の當然、是非なく 大老『然らば伊達安藝を呼出すべし』と云ふ事になつて遂に書記に命ぜられ、法式の如く伊達安藝此狀拜見次第出府致すべき者なりと云ふ御奉書を認め、早速仙臺の上屋敷へ御遣はしに相成りました上屋敷よりは大急の早打を以て奧州遠田郡涌谷へ進達に相成りました、坂倉内膳正は退出がけにも、小石川水戸邸に罷り出でまして、親しく光圀侯に御目通りして、今日殿中の次第を御物語りなさいますと、光圀侯は手を拍つてお悦びに相成り 光『ハアー能くも夫までお運んなすつた、イヤ御遠なればこそ夫れ迄やられた、適れ〳〵伊達安藝さへ出て參らば彼れ却々の者、涌谷と願書を持つて歸る遣ひはない、此上共御遠の御骨折を待つ』と仰せあつて酒肴のお持成し方は大老酒井雅樂頭お役屋敷へ歸られると直に御家來に 大『兵部を呼べ……』と以ての外の氣色即刻麻尾へ御使者を立てられて兵部少輔取急ぎ酒井の屋敷へ來ると待兼たとばかりに奥の一室に召されて 大『偖て今日火急御招きを致したは餘の儀ではないが、今日殿中御用始め、與君を被告として伊達安藝が數條の目安を以て板倉内膳正に訴へ入れたるを内膳預かり置いて今日御用始めに裁判致さんと申入れた。我等は……存ぜし故取上げぬやうに致さんと存ぜしが、何分水戸侯の御内諾を受けたと云ふ内膳、思ひ込んでの樣子、據ろなく伊達安藝に呼出しを發したが、彼は新參と申せ、若中より一旦京都所司代となり、此度缺役多き故其才の有るべき者故、再勤仰せ付けられし人物、却々奇才のあるべき者でない、殊に板倉氏と云つて吟味の方法が一派異つて居る事は衆知であらう、精々油斷はならぬ大方安藝も二月中旬には出府致すであらうが、成る丈け本公事に致すまいと云ふ考へだが、なか〳〵容易ならざる者と聞き及ぶから是非本公事となつて天下評定所に於て立派に裁判を致さねばならん、然うなると餘程骨が折れる、何にしろ原田甲斐と御相談あつて萬事ぬからぬやうに御準備をなされい、一厭じたいが然し其内に……』と云つて奧へズーッと這入つた、兵部少輔は顏の色を變へて急速御暇を告げて龍尾へ歸ると直に『兵部早々參れと申し來れ』と言ひ付ける、家臣は即刻芝口の上屋敷へ迎へに行く、間もなく原田甲斐は渡切りでやつて來た 直ちに御前へ……待兼ねて居た兵部少輔 兵『イヤ待ち兼ねた、身共到御大老御役宅から立ち戻つたが、今度御用始めに例の一件が……』甲『然らで御座らう、何んな騒ぎで……』兵『餘の老中方ば仔細はないが何れも板倉が決心して居る樣子、殊に水戸侯が何處までも尻押しをして居るらしい、遂々伊達安藝を呼出す事になつた、安藝が出府した曉は、餘程骨が折れやうから、早く其方に相談しろと云ふ御大老の御意であつたから、貴公を呼びにやつた』と愛色面に顯れて物語つた。

人參王

京城本町壹丁目・電話一四八〇〇番

㋡津村兄弟商會

京城長谷川町鐵冷温泉前

岩田病院

内科 小兒科 一般外科 耳鼻咽喉科

正五位勳三等 岩田米彦

入院隨意（電話一六二〇番）

將棋

於京城旭町 日本將棋會

六段△溝呂木光治氏（京城）

兩馬落▲有賀治郎氏（京城）

（第十七）（圖迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金		金	銀	桂	香
		王				角	飛	
歩	歩	歩	歩		歩		歩	歩
				歩				
						歩		
				歩	歩			
歩	歩	歩	歩	銀		歩	歩	歩
				金		金		
香	桂	銀		玉			桂	香

（千日手詳解）△四八銀▲三四歩△五六歩▲五四歩△五七銀▲三五歩（イ）△三八金▲三二飛△四六歩▲六二玉（ロ）△五八金▲七二玉△四七金左▲八一玉△五八玉▲七二銀（以下次號）

溝呂木六段評

▲（イ）三五歩突きは趣向ならんも面白からず

▲（ロ）六二玉と早く玉を操りし手はよろし

一月十日

土曜日（舊）十一月二十日 ▲ひのとみ（東南）▲四綠 赤口

▼四綠▲念に念を入るべき日也

▼五黄▲勝に落ちぬ事のある日

▼六白▲短氣を愼まば好き日也

▼七赤▲自暴自棄を愼むべき日

▼八白▲目下の者の事にて氣苦勞の起り易き日なるも舊事は吉

▼九紫▲願ひ事の叶ふ日にして起業移轉旅行棟上其他すべて吉

▼一白▲目下より立らる〻美しく賑やかな日なれど散財は注意

▼二黒▲不眞面目の事多き日也

▼三碧▲親しく懐しき日起業移轉婚禮棟上げ旅行其の他一切吉

名刺

電話一七二二番

京城 太平堂

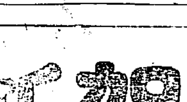
振替京城三六七番

▲紳士的新職業▼

男女 拾八歳以上

△學力小學卒業程度自宅で居ながら立身が出來る

裸一貫無資力で成功できる文明の寵兒たる紳士的職業は自動車運轉手である



規則書を無代進呈す

○東京牛込區通寺町廿二 東洋自動車學校

新年の笑顔と一致する

ライオン煉齒磨の

さわやかさ！

なつかしさ！

心地好さ！

ライオン齒磨本舗 株式會社小林商店

恭賀新年

◎其實驗說明書の發行三十版に迫ぶ◎

◎本器は會主前島震太郎の創製にして江湖に提供以來七箇年愛用者數萬を算し信用愈々確立決して他の摸倣を容さず

醫療器

▽邦文 支那文 實驗例說明書贈呈△

オキシヘーラー

▼オキシヘーラーの効力顯著なる事は使用僅か五分間にして三乃至五日日の血壓を亢め一時間を繼續せば實に十乃至卅日日の活力を增進す試に血壓計、尿液計を以て驗せば其劇的の狀を明にし各自は脈搏、呼吸、體溫の整調に依て自覺せらる

▼微妙なる磁氣應用の本器は新して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち腦神强壯となり全身の溫暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食欲の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神效なるは實に天下の奇蹟也

特色 使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば機械購入以外永遠に何等費用を不要

■正價金參拾五圓■ 送料内地金參拾六錢 支・滿・臺・樺金六拾五錢

東京牛込區榎町三十一番地 オキシヘーラー奬勵會

電話番町特長三〇七・四六八九番 振替東京二七七二二番

地方税制整理

地方税制整理に關しては數年來内務省地方局に於て種々調査中であつたが最近府縣に於ては縣吏警察官及び中等學校教員の增俸、市町村は各公吏及び小學校教員の增俸其他一般物價騰貴に伴なふ經費の膨脹著大したものありて左なきだに財源貧弱なる地方團體は頗る之が財源に苦心中であるが如何せん有力なる財源と云へば何れも國税附加税を除いては戸數割の外なく而も附加税は夫々規定の制限ありて歳出膨脹に伴なふ彈力を有せず爰に政府は義務教育費の增加に充つる爲め國税附加税制限外の範圍を擴張せるも近來の歳出增加率は中央も地方も實に非常なるものにて些少の制限外擴張の如きは以て此の異常の經費膨脹を補ふに足らず地方團體は已むを得ず自由なる戸數割を無制限に增徵する事となり甚だしきは高利の起債をなして其償還費として國税制限外課税を强要して纔に其收支の適合を計る有様なるが之等の如きは一見公債費を擔税力ある國税附加税に轉嫁するものなるを以て地方議會及一般住民は何等顧慮する所なき抑も地方團體の起債は臨時突發の已むを得ざるに出づる經費に充當するもので昨今の如く普通經常の增加費に對して單に税源なきの故を以て其條件利率の如何に拘らず其償還費を附加税に求めんとするが爲めと云ふ如き攻略的手段に依るは決して財政上健全なるものと云ふべからず之れを以て政府は先に調査せる成案に基き地方財政の窮境を救ふ可く(イ)規定の地方税特に戸數割は從來の標準認定主義を改めて標準列擧主義となして成るべく負擔の公平を維持すること、(ロ)更に府縣税として都市に地價增差税の設定を許可すること(ハ)其他最近地方金融の膨脹せる實況に鑑み地方團體の起債を極力公募に依らしめ中央政府は其保證をなすこと等を決して内務省は今期議會に地方税制整理に關して關係各法律の改正案を提出すべしと聞く(東京)

鐵道現業員優待

鐵道院にては豫て現業員の優待方法に就き調査中なりしが愈々現業員共濟組合に對する補助金を增加し同時に現業員の積立金をも增額せしめ共濟組合の活用に深甚の注意を拂ふ事に決し三十日の臨時閣議に於て石丸副總裁より右實行方法に關し委曲説明する所あり閣議は之を承認し來年度より之を實行することに決定したりと(東京)

仁川期米行間

仁川期米は九日前場四十八圓七十八錢に寄附七十四錢と前場を終りたるが内地小弱き人氣に商状何となく行間への氣味を呈したるも安値は有力筋の買物潜み居れるを以て無暗の安値は期待し難き目先保合圏内に入るにあらずやと觀測するものあり

商況

株式

東京株式 至急電報

	●九日第一立會	前電比較
東株	四九二、〇〇	三三、〇〇高
同新	四九四、一〇	三三、〇〇高
鐘紡	一八〇、五〇	一二、二〇高
一新	一七八、九〇	……
二新	一七九、九〇	……

大阪株式 至急電報

	九日前場寄付	八日前寄比較
大株	四六二、九〇	二、一〇〇安
同新	四六四、〇〇	五、九〇〇安
郵船	二四二、三〇	四、七〇〇安
同新	二三六、〇〇	二、〇〇〇安
商船	一六六、九〇	一、九〇〇高
同新	一六三、七〇	二、七〇〇安
鐘紡	四八三、〇〇	五、九〇〇安
同新	四六七、四〇	二、四〇〇安
東紡	三一二、三〇	……
東糖	二〇一、五〇	……
常米	二〇五、〇〇	四、九〇〇安
上取	二〇二、〇〇	三、〇〇〇安

京城現株 標準値段

▲印騰貴 △印下落

	拂込額	時價
仁取	二五.〇〇	▲一七九、五〇
朝郵	二五.〇〇	四一、〇〇
電興	二五.〇〇	一五、八〇
皮革	五〇.〇〇	二五、五〇
東畜	一二.五〇	一五、〇〇
朝紡	一二.五〇	▲三五、三〇
朝紙	四〇.〇〇	三八、五〇
商銀	五〇.〇〇	五八、〇〇
同新	一二.五〇	一九、〇〇
滿毛	一二.五〇	四二、〇〇
朝煙	四〇.〇〇	三八、〇〇
鮮土	一二.五〇	一七、〇〇
東亞	五〇.〇〇	九七、〇〇
同新	一二.五〇	四〇、〇〇
中鐵	一二.五〇	一五、〇〇
殖鐵	二五.〇〇	一五、五〇
朝日	一二.五〇	一二、五〇
安信	一二.五〇	三〇、五〇
鐵證	一二.五〇	二一、〇〇
京銀	二〇.〇〇	二四、五〇

仁取上向く

其後百七十八圓見當に底堅き振合ひを見せたる仁取は安値待ちの買觀ひありたるも値頃出合はあ結局本日は七十九圓五十錢所にて五十枚値の取引ありたり

殖銀買物續出 殖銀は拂込を氣構へ買物あり買手は多く會社銀行筋の賞與金引當との小口買多く百十三圓八十錢にて七十枚の手合せありたり

米況

東京期米特電

●九日前場 當限寄付 五十一圓七十九錢 中限寄付 五十一圓四十錢 八日後場 ……

●九日前場 寄付 五一、五九 高値 …… 安値 …… 止め ……

大阪期米特電

●九日前場 當限寄付 五十一圓十九錢 中限寄付 五十一圓〇八錢 八日後場 ……

●九日前場 寄付 五一、一〇 高値 …… 安値 …… 止メ ……

神戸期米特電

●九日前場 寄付 五〇、七〇 高値 …… 安値 …… 八日後場 ……

東拓賣物薄

東拓は一新二新共に賣物少なく反對に買探りの態にて二新四十圓一新七十五圓處にて買擧あるも買手は今一段の高値を望めるが如し

下關期米特電

◎八日後場

	當限	中限	先限
寄付	五二、二五	五二、一六	五二、二五
高値	五二、二五	五二、二〇	五二、二五
安値	五二、一六	五二、〇九	五二、二五
止め	……	五二、一〇	五二、二五

仁川期米 九日前場 (嫌氣投げ)

今朝天候晴天各地入電未著なるも前日阪地の止め氣乘薄に市場の人氣は一般氣迷ひの商勢にて至極閑散の光景を示し立會は當出來ざるが中四十八圓五十錢と始め先四十九圓七十八錢より山布の利喰ひ賣りに四錢と下這りせしが押目は㋮の買猟ひに九錢と跳返し戻りは山布好く賣り六錢と氣迷ひに引

▲第二節 當四十五錢より四十錢と弛み中㋮の買ひに五十錢と手堅きに先七十五錢と始めしが金山布㋮累の賣物に七十錢と下押せしも㋕㋮の買猟ひに二錢と締りて底非强硬に引

▲第三節 當四十錢中限も四十錢と始め三錢と締まりしも㋮賣に三十錢と下押し㋮㋕の買物に五錢と戻し先七十と始め山布の連節賣に小口の嫌氣を誘起し六十二錢と下押せしも安値は隙かさず㋮丸カ店の買に七十錢と返し六十八錢と手堅く引

▲第四節 當出來不申中三十九錢より四十錢と始め㋮買に締まり先六十九錢と始めしも小口の賣物衰ろへず五錢と弱み㋮団の買に再び七十錢と跳返し六十九錢と持合ひに引

▲第五節 當出來不申中四十八錢と同事に寄付㋥山布買に七十五錢と締まり五錢を戻し㋮の利喰ひ賣に三錢と押し四錢と氣丈に引

現株買賣 公債株券現物賣買 有價證券信託業 西村商會 京城府若草町百六 長電話番〇番 ◆特約店◆ 東京信託國 寶屋 久保田正治商店 大阪株式取引所仲買人 雁半 中村半兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人 布井仲買店 電話 二六四番 三三五番

りて騰落を演ずる事多きも近來は中々其の調子に行き兼ねる點多きのみか現在の大阪市場の如き賣方は三期共天下の名將揃ひに買方は各地の群衆買なるが容易に崩れぬのみならず逆に漸騰を辿りて居る▲去れば當市場も幾分地場下賀成の氣味を有し鮮人筋の總買ひなるも場面は硬調を失はず賣方の舞臺に獨占されんとする傾向がある此の調子では餘り客侮りの壓迫も飛んで火に入る夏の虫となりはすまいか之れ程當局なり各銀行が金融の緊縮を爲し續いては有力者の手揃ひで米價の鎮和に努力して居るが其の利目が薄く動もすれば爆發せんとする形勢を有し居る點から推攻すると▲値頃觀よりしても未だ〱米價安を望むは時季尚早で農家の表現せる鮮米の六十圓說も無意味に看過爲し難く思ふ何となれば内地は弱氣の書入れせし六千萬石の豐作も今日の人口增加や好景氣に伴ふ生活程度の上向に對して給力に樂觀を許さす▲臺灣米の三百五十萬石に外米の補給も仰がねば到底不足額を補ふ事至難である處に鮮米の輸出力は凶作の爲め殆んど不可能の狀態であるに擒て、加へて消費額の增加せし事は特に著しく年々作付反別の增加より人口增加の需給に均衡を缺くといふのみか時世の進步に伴ひて輕便鐵道とか其他交通機關の發展等にて反別は次第に減少を告げつゝある今日需要の比例以上に供給の過多は望まれない▲本年の如き旱害凶作を證明する年柄は當局の樂觀的豫想發表や各銀行の金融嚴戒位いを信賴して買安心は出來難く其の任に當れる農家の實驗談に提灯持が結局の勝らしいとは現在の弱氣が鶴首して期待せる正米の崩れも前途遼遠ではあるまいが兎角硬軟共に大正九年の米價は特に研究を要するが如しと

京城正米市場

物薄と各地高に刺戟せられし正米市場は今朝引續き賣人弱の唱へなるも期米の頭岡へと過ぎ觀にて買人の人氣之れに伴はず天安玄米の如き一月渡し一車四十八圓八十錢の割安手合行はれたるが大體の氣配としては先づ地摺上物の四十九圓處で前日來持合ひと見るを得べく結氷期に際し降雪揚句の運送支障による地方出殺難もあり當分ず物增加を望み難きが爲自然必需口の贔り上げ買を除なからしめ舊曆季間際に至るは此儘强調を遂ふや知る可からず

下關米取引所仲買 桝谷米市 多少ニ不拘御注文被下度確實可敬ニ取扱可申候尚弊店ノ信用ニ關シテハ下關第一銀行住友銀行支店又ハ百十銀行へ御問合チ乞フ

白米益強硬

白米は原料市況混沌の裡にも眼先高模樣を示し且つ採算もある事とて市中卸値はヂリ〱引締まり氣味にて今朝は最底五十六圓八十錢より最高四十七圓二十錢見當を唱へられ此處依然移出不引合ひと賣行き閑散に拘はらず漸次原料高に牽制せられん傾向なり

粟ヂリ々軟勢

粟は既報の如き事情にて兎角人氣引立たざるも安値には手放し躊躇の振合ひにて著しき相場の下押しなく今朝は持合ひ唱への裡に新海城一月中三車二十三圓五十錢新營口現物一車二十三圓三十錢の〻合せ行はれたるが跡海城物一車元山著にて二十三圓三十錢と不勢を辿りしが此一口は賺氣賣退きが前二口に比して割安の觀あるやにて跡氣配も又面白からざる成行きなり

仕入の移動

新甫發會以來鮮人筋の群衆買に某會社の後援ありしと内地連節高を移し地場の下賀成も利目漸く生れ値より百五十丁方の反撥を演ぜしが昨後場阪地の伸び惱みを受け今朝は山布より一萬餘石の大賣物現はれしかば群衆買の鮮人筋は買方の中堅たる某會社の利喰ひと誤解して手詰めを急ぎしのみか途轉商越に轉化せし模樣にて一入不勢を示し九圓七十九錢を高値に殘し六十二錢とヂリ〱安を演ずるに至りしが山布の賣物は京城鮮人筋にして某會社の買玉は前記豫想の如く手詰めを急がんとする模樣なく今朝は却つて六十袋をば㋮カ刄より五千石餘の買注文を發したるのみならず續いては正米を買進みの狀態なれば何か確たる强材料を握れるものと想像し得べく人氣は展買に一轉せしも地場筋は又此邊賣方に廻れるなど仕手關係の變化しつゝある事聊か注意を拂ふべき事なり

九日前場	
寄付	四九、七八
止め	四九、七四
高値	四九、七九
安値	四九、六二

平均値段	
一節	四九、七七
二節	四九、七三
三節	四九、六六
四節	四九、六六
五節	四九、七四

本日出來高 十萬九千九百石

帳入値段 四七、五〇 四八、四一 四九、七五

市場雜觀

從來の相場は總て仕手關係に依

其他市場に於ける雜穀出來高は龍山大豆現物一車二十九圓三十五錢滿洲蕎麥二車二十圓大邱糖二月渡五車二十九圓黑豆粕現物十車四圓四十錢の手合せあり

在米增加難

舊臘末に於ける京城在米高は玄米九千九百〇九叺白米一千七百九十三叺にして之を同月中旬に比すれば玄米約六百叺白米三百五十叺内外の增加を示せるが米商人の手持としては昨冬來引續き買控へ方針を取り來りしを以つて謂意外の在米としては殆ど數ふるに足らず從つて新米期の昨今としては稀有の在米薄ともいはるべく結氷期に際し河筋の出殺皆無▲折柄唯一の賴みとせる鐵道沿線は過般來の大降雪にて奧地よりの搬出不能となりたるを以つて眼先廻米の增加を望み難きのみならず天候關係より籾の乾燥不良と籾の不作抄にて本月中旬の在米は或は多少の減退と見るや測り難し

京城在庫穀物

舊臘末に於ける京城在庫穀物現在高は左の通りにて其内正米は前項の如くなるが其他の雜穀增減は粟七千餘叺小麥四百餘叺大麥千八百叺減退小豆一千餘叺綠豆千叺内外の增加を示せり

大豆二、五二二叺▲大麥二一〇、六五五叺▲小麥一一、四五七叺▲籾一、七四三叺▲糯玄五、九六叺▲糯白一、二七九叺▲小豆三、〇〇八叺▲胡四、四二〇叺▲黍一四八叺▲雜穀七、三三二叺▲綠豆二、〇七三叺▲粟四四、三〇三叺▲唐黍二八叺▲蕎麥三九一叺

仁川正米市場

正米は在米薄の折柄某會社の手を經たる内地筋の買注文に搦し搦て三平澤其他產地の高報を移したれば人氣益々強く三等合格四十九圓八十錢見當を唱へしが手持筋は斷然賣應せず先高見越しより更に買進まんとする振合にて商内殆と行はれず地摺玄米も之れに促進され四十七圓を突破せんとする氣勢を示し居れり

釜山正米市場

内地期米軟弱に伴れ釜山正米市場も下押し模樣となり三等神力四十九圓三四十錢穀良四十九圓六七十錢所にて四千叺許り出來▲大豆は京釜二十七圓四十錢所にて七百叺許り商内ありたり(九日釜山)

綿布一服乎

綿布は内地三品高と相俟つて新春に入り各品漸次上步調を辿り三エー現物は安値より十五圓方を引返し眼先稍正需要を控へ更に仲氣分を含みつゝあるが何分眼前は在荷豐富にもあり且つ思惑商内警戒の折柄とて此邊値頃は一思案の譏となるも當然にて今朝は人氣行間への模樣を示し前日來持合ひ唱への裡に見送り居れるものゝ如く市中商内も市況は此邊一般觸機待ちといふべき振合ひなり

金物材一齊昂騰

舊臘末既に底入れ模樣を呈せし金物材は新春早くも反騰氣分を現はして各品一齊に昂騰步調を辿り來れるが其内にも錫は昨冬米在荷過剩を唱へて低落に低落を重ね遂に不採算の安値に落込みし爲め此間梅力約定を手控へし結果として在品次第に消化せられ昨今却つて在荷拂底の模樣を來せるのみならず近かく輸入の目算さへ無き折柄本國相場報毎に高値を齎らし來れるに隨ひ本邦氣配も漸次立直りて最近小刻みに約三十圓方の反騰を告げ昨今の當市中値百九十五圓に上り眼先二百圓をも突かんとせる氣勢あり銅も又茲三四圓方騰貴し浪平板も共に二十錢方を跳返し同事に鐵板十三枚物も上向きとなれり

洋釘太物缺乏

洋釘は市價尚持合ひ範圍を脫せざるも在荷拂底甚しく就中ぶ物は兎も角二吋以上の太物は持品殆ど皆無の態なるが如く元より其中間には先高を見越し手持品を閉せる形跡なきにあらざるも他の金物類一齊高を告げ居れる際なると今後の輸入遲延を免かれざる旁眼先何れは一騰昂あるべし

りん病根治の發明

どうしても藥では根治しない

なぜ藥で治らぬか 淋菌が一たび尿道に入れば、忽ち粘膜を侵して皮下に巢窟を作り、一方には粘液の出る無數の小孔の中に深く侵入して、此の二ケ所を根據地として盛んに繁殖します。其巢窟と小孔の中には血液も藥液も届かぬのですから、強い殺菌藥を服用しても又は注入しても、只尿道面に着て居る淋菌が死んで一時上治りするのみであります。從來の總ての藥や手術では根治しないのが當然です

それを手輕に根治するには本部特許の本器を使用すれば本器獨特の眞空方に依り、尿道全體に亘つて居る巢窟を破壞し吸收し且つ無數の小孔内の淋菌も根滅し、百法盡きた數十年の頑病も忘れた樣に根治して全く再發せぬ眞正治癒の幸福が得られます、實に醫師も患者も必要な小形簡便な器械です、商現品には委しい使用法と保用書が添へてありますから、患者一人で簡單に誰でも直ぐ治療し得られます

●男女兼病根治器(藥品付) 定價金參圓八十錢・送料十八錢

東京京橋本材木町三ノ二五 新療法研究所 振替東京二九四九番

大阪北區北森町一 同大阪支部 振替大阪武〇三武

(尚深く知りたき方へは實驗證明付説明書に、男女生殖器、發育不完全、若弱こしけ、早漏、包莖等の自宅療法書を添へて無代進呈す)

醫化學諸器械一式 藥種賣藥卸商 Ⓚ

北島藥店 仁川本町 電話二三四・振替京城六七番

北島藥店京城支店 京城本町 永樂町角 電話七六一番

登録商標

健胃固腸丸

◎腸胃病 本劑は專ら腸胃を健全にし下痢腹痛には絶大なる効力あり常に服用すれば食物の消化を能くす家庭にも旅行にも必ず御用意

主治 食傷、冷込、時候あたり等より起る下痢と腹痛を治し腸胃を強健にす

藥價 貳拾錢、卅錢、五拾錢、一圓、三圓、五圓

本舖 大阪 東京 谷回春堂

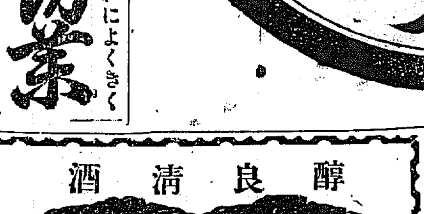
各藥店にあり、商標及本舖名に御注意あれ

猿馬印

しもやけ根切藥

手足耳のかゆみいたみただれくずれによくきく

全國藥店に有 本舖 東京日本橋區上槇町三 安川晃榮堂



醇良清酒

鮮滿到る處に販賣す

釀造元 平壤 齋藤酒造合名會社

資本金 六百萬圓 積立金 操越金 百貳拾五萬圓

株式會社 十八銀行京城支店 京城府黄金町二丁目 電話四二〇番 五八〇 振替貯金口座京城八一四番

同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 振替口座京城一八貳三番

同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番

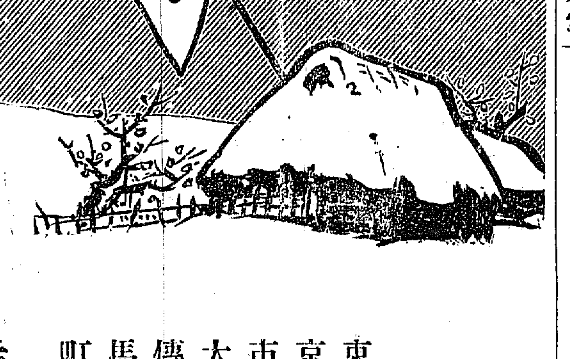
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理店事務取扱申候

新春の 容儀を正しくする 男性的、厭味なき足袋

オニタビ

品質本位 耐久無限

東京市大傳馬町 寺田合名會社



紅の蜘蛛 江見水蔭

挿畫 近藤紫雲

「六十九」

十圓紙幣二枚遣つて漸くダムダム彈次を銀線カフェーから追拂つて了つた。

水上頼之伯一人と成つた。

然う成ると遠巻きにしてゐた女給仕達が、一時に頼之の卓子に寄合して來た。

『まア光さん、巧いわね。劇の眞似はお手に入つたものね』

『本統の悪黨なのかも知れませんわね』

『だが、光り物の與四郎は好かつたこと』

『龍子の情婦だ、イヤ情婦になり掛つてゐるも好かツたね』

頼之は笑ひながら。

『イヤ其代りだね。醉漢を、あの通り無事に追返した禮として龍子を如何しても僕の本統の情婦にさして呉れなければ、今度は僕が暴れるぞ』と戯れた。

『好いわよ。貴郎なら、些とも可恐か有りませんわ』とタンクが受けた。

『や、串戯は串戯として僕は今日、眞面目に龍子に話が有つて來たんだ。無論口説くのだがね、お前達は、五分間ばかり遠慮して呉れ。然うして龍子だけ此處へ殘して行つて呉れ』と頼之は云ひ出した。

『それは仕方が有りませんね。龍子さんは頬片を切られる處だッたの。それを光さんに救つて頂いたのですからね』

タンク等は然う云つて、連れ立つて奥の方へと去つた。

龍子一人殘つた。光さんとは水上頼之伯といふ事を知つてゐるのも一人なのだ。然うして自分の後援をして呉れると眞面目で云つて呉れた方なのだから、人前でごんな串戯口を利かれても少しも羞づかしいと思はなかつた。

『何か召上がりますか』と云つて卓子近くに立つた。

『いや、龍ちゃん。今夜は眞面目の用なんだから、まア其處へお掛け』

『はい』

龍子は伯に對して椅子に掛けた。

『お前の姉さんを見附け出したよ』

『あら、そんな事を被仰つても、擔がれませんわ』

『いや、本統なんだよ』

『お擔ぎなさるのでは有りません』

『北條淀子といふのだらう。お前の姉さんの實名は……』

『はア、然うで御在ます』

『二十七の筈だ』

『ね、然う……』

『不思議な事で、その淀子に逢つたよ』

『まア本統ですか』

流石に姉妹である、龍子は嬉しい顔をせずにはゐられなかつた。

『欺すのなら其處まで詳しくは知らない筈だらう』

『本統ですわ。然うして今、何處にゐますの』

『僕の家に……』

『ホツ御邸に……』

『逢ひたいだらうね』

『ね、少しも早く遇つて話したい事が御在ますの』

『然うだらう。暫時音信不通だツたさうだからね』

『御邸へ訪ねて參つても宜しいでせうか』

『それは一寸困る……』

『あら、如何してですか』

『細かな話は出來ないが。幸ひ翌日は日曜日だ。或處で二人を會はして上げやう』

『ごうか然うお願ひ致します。然うして何處へ參つたら宜しいでせうか』

『それを一ツ此處で打合せて置かうでは無いか』

『ごうか然うお願ひ致します』

新年懸賞募集 小品文

一等 丹頂

平安北道龍岩浦 鶴田信三郎

權威ある朝暾が、輕い春風に翻る門並の日章旗に強烈な光線を投げ掛けて、一幅の活畫を作つて居る。蒼空高く自由の翼を擴げて圓陣の行動に移つた丹鳥の群が十又八羽。暫時すると直線形に活動を起して然も儼然と一絲亂れず南邦無北の國旗を祝するがやうに鶴音次第に遠く東の容に姿を隱した。

二等 柿の果一つ

京城蓬莱町四ノ一八三 森よし子

「ワン、ツー、スリー」號令一下待ちかまへて居た選手は互に一生懸命、猫の兒が玉を狙ふやうな圖である。コロ、コロ、コロ、艶々した朱塗のやうな柿の果は小さいスプーンに追はれて彼方此方に轉がつてゆく。それはスプーンの動くまゝに極めて從順だ。けれごもソレ今度こそ乘つかつたと思ふ間にするりと拔ける、恰も世の手腕家が機微に觸れて巧く世渡りして行くやうに、悟道者が巧に斷動して來る事物に、それてゆくやうに、又は醉者を操る女の樣にもある、焦せれば焦るほご逃げてゆく柿の果一つ

二等 ポリスマン

平安南道順川邑内 熊谷正蜂

雪はスッカリ大地に凍てついて雛のやうに尖つた風の中に粉雪が舞狂ふ。夕暮の靜寂が足下から迫つて來ると冷ね勝な漏突の中にいやうとなしに這入る。煤けた燻んだランプの光りは破れほぐれた、赤ちやけた紙障の紙をほんやり照す。平北に近い僻陬の地、邑内の署を離れて山路四里、通信は三日に一回。ウンザりして考へることもなく考へ込む……獨身……廿四歲……むさ苦しいほろ〳〵になつたこの駐在所に赴任して來て最う二箇月になる。内地人は勿論自分一人。部下の鮮人巡査が目の前でごんな悪口を叩かうと何も分明らぬを良い事にして妙にさげすんだ擧動……何もかも可厭だ。秋田の郷里も遠い……。

三等 女の子

全北井邑大正町 松本まさ志

又女が生れた。女ぢや仕樣がない。然うした、言葉を幾度か聞かされると、何日も反抗的に男の子が何故好いのだらう?。女の子が何故悪いのですか、と聞返し度うなる。小さい生を享けて初めて此世に生れ來た者を『また…』と言はれては、と思ふと一人涙ぐましくなる。女が如何していけないのか知ら、と思ふ後からやはり男の子が欲しい……と心の何處かで私語いてゐる。

三等 寢顏

平北雲山郡東新面 宮崎寒扇子

僕は丸々と肥つた昇の寢顏を飽かず眺め入つた。そして暫し空想に耽つた。自分は腰辨で終つても。此の兒は充分高等の教育を施して、天晴名を擧げさせて理想の妻を娶らせて、自動車に乘せて……がやがやと云ふ人聲、五六人皆んな赤い顔して年始に來た。門には日章旗が風に飜つてる

三等 病間

慶南晋州 久本嘯月

霜解けの野の面には柔かい陽が息ついてゐた。午前十時。蒼白な野原も生垣もいちやうに、柔かさ、暖かさに喜びの色を施してゐる。格子を開け座敷に通ると藥の香が折々織返つてくる。今迄の明かるい氣分もいつとはなしに濁らいでゆく。若い嫂は蒼白い痩せた手を枕元に坐つた兄にまかせてゐた……ダラリと力なく兆手が兄の膝から辷る拍子に『……』『そんな事言ふものぢやない……』嫂の言葉を打消すやうに兄は笑つた。私は默つて蒲團の友禪を瞳のうちにのこして硝子戸越しに庭をみると風もないのに靜に白い梅の花が散る。

新刊紹介

▼社會及國體研究錄(臨時號) 遠藤博士の社會改造の理想(七項)及びマルクス主義(關未代策)等新思潮研究の好資料を集む(一圓東京巣鴨宮仲北園學舍社會學研究所)

▼自由評論(八の一) 五十錢東京赤阪區田町七の一三

▼海外(五の五五) 二十五錢東京麴町區麴町五の一三海外研究會

▼滿蒙研究彙報(四五) 旅順乃木町滿蒙研究會

▼人格と幸福(七の一二) 九錢京都紙園南部小路明治修養會

▼刀の研究(六の一) 五十錢東京下谷區茅町二の三南人社

▽中央佛教(四の一) 宗教界名家の有益なる說多く、國家對佛教の二問題(來馬琢道)外數十項(四十五錢東京牛込區矢來町一一其社

▼朝鮮藥學會誌(三の一) 四十錢京城南米倉町四其會

▼茶(一二四) 二十五錢大阪東區高麗橋通五ノ一八關西茶會

▽朝鮮醫學會雜誌(二七) 朝鮮總督府醫學會

▼日本國の婦人(田中智學述) 田中智學師の婦人に向つて爲したる有益なる講話(東京下谷鶯谷國柱產業株式會社

▼家庭顧問(三の一) 化粧研究その他婦人日常の手引を網羅したる趣味多き家庭雜誌なり(四十錢東京麴町區上六番町二六家庭顧問社)

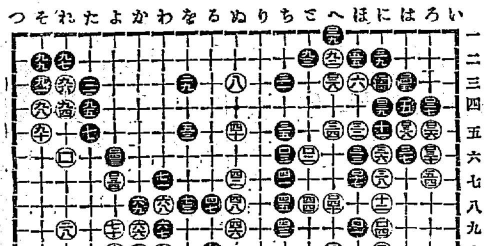
▼海友(一一五) 二十五錢大連海務協會

圍碁新局(十)

(十一月中旬於本社主催圍碁大會)

五段 瀬越憲作氏
先 三段 中村啓一郎氏

○	一三六	に十一
●	一三七	へ十二
○	一三八	は五
●	一三九	に四
○	一四〇	へ八
●	一四一	ぬ十八
○	一四二	る十八
●	一四三	よ六
○	一四四	に三
●	一四五	は三
○	一四六	ち十二
●	一四七	ち十一
○	一四八	ぬ十三
●	一四九	る十三
○	一五〇	る十四



レート白粉

晴衣とお化粧

▲三越の……お化粧室で實驗されて居る上品なお化粧法

▼晴衣を引つ立てるお化粧。それは飽く迄も上品でなければなりません。上品でない化粧でなければ、決して晴衣には調和いたしません。

▼此節は晴衣をお召になる事が多うムいますから、直ぐ其御實驗が出來ます。で、上品なお化粧をしやうと思へば、第一にお化粧料の

▼御選擇で、お化粧料が惡ければ、どんなに苦心されても、上品に美しいお化粧は出來ません。レート白粉は自然に上品に、お化粧の

▼出來るやう研究し製造されたものでムいますから、管々しく説明を申上げるより一度御使ひになつて御覧になれば、白さが自然で、飽く迄上品で美くしい事が御分りになりませう。

本舗 東京 大阪 平尾賛平商店

肌膚を整へ色艶を艶々しくする理想的の美容料

肌膚を整へ色澤を艶麗にする ○ミツワ石鹸

大形一個金參拾錢 中形一個金貳拾錢 小形一個金拾五錢 極小形金七錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

●皮膚組織が西洋人と異り、且つ皮脂の分泌の多量な本邦人の皮膚毛髪の洗滌には、舶來石鹸や或は舶來石鹸を模倣して製造したものは頗る不適當である、本邦人の嗜好に適し、其皮膚毛髪の洗滌と、美容とに、合理的に適當するやうに研究に努力して精製されたものは、獨り此ミツワ石鹸のみである、故に石鹸と云へば、此ミツワ石鹸を意味して國產石鹸を代表してゐるのである、全く潔容と美髪とには、缺くべからざる洗料で、地肌を整へ、汚垢を十分に落し、肌膚の養ひを助けるので、平素此石鹸を常用すれば、白粉ののりのびは自在に、生彩ある化粧美は發揮されるのである、今本品の具備せる特徴を擧げると、

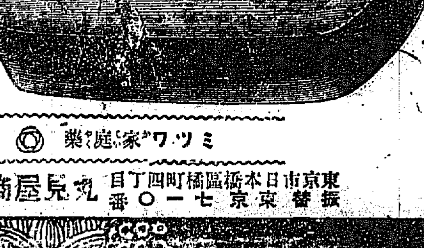
一、原料を精選し、脂肪に香料に、苟も刺戟を惑ずべき廉あるものを用ひず

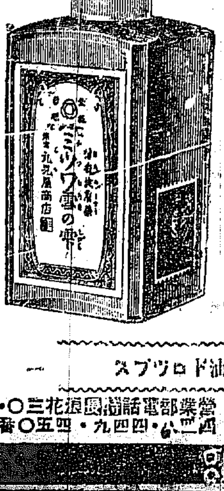
一、溫雅の芳香を有す

一、適度の溶解性を具へて能く水にも溶解し、而も浴室に用ひて半途に溶け崩るゝ憂なし

一、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に最も適合す

一、頗る實用的なるを以て家庭經濟に叶ふ





○ミツワ雪の雫 肌膚を柔軟にする芳香健膚藥

定價 金四拾錢 內地以外は關稅運賃を加ふ

ミツワ石鹸で洗つた後で、常に此ミツワ雪の雫を塗ると皮膚を柔軟にし、白粉ののりのびは思ふまゝに、生彩ある化粧が美しく出來、又化粧崩れの憂はない、殊に此ミツワ雪の雫は、芳香健膚藥であるから、皮膚乾燥、皮膚剝脱、皮膚龜裂、皮膚皸裂、凍傷、火傷、擦過傷、雀卵斑、脂漏、痤瘡、毛瘡、濕疹、白癬などに奏効著しく、皮膚の組織を緻密にするものである、それ故に嚴冬の寒に肌膚を荒さないやうに、艶々しくして何時でも白粉が思ふやうに乘伸するやうに、地肌を美しい上にも、美しくするには、常にミツワ石鹸を使つた後で、必ず此のミツワ雪の雫を塗ることが肝要で、この方法で化粧したお化粧は其色艶のよいこと、化粧の崩れないことなどは、全く本品が特有の効果である。

ミツワ家庭藥 ◎ 肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目 丸見屋商店 振替東京七一〇番 營業部電話浪花[illegible]番